大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

昭和十一年五月十四日　新京日日新聞　（木曜日）　第四千七百七十四號　（一）

新京日日新聞

夕刊　五月十三日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅一ケ月拾五錢 廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話〔編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇〕

發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

"政府當路者も諒解 今後は大量移民實現"

中央當局と重要打合せを遂げた 板垣參謀長歸任車中談

【東京國通】參謀長會議に出席した板垣關東軍參謀長は花谷、專田兩參謀を隨へて十二日午後九時卅分東京驛發歸任の途に就いたが車中左の如く語る

來る時に喋り盡したからもう何も言ふことはないよ、滿洲の移民問題は愈よこれからが本式なものになるので今日迄のは言はゞ試みの時代だつた、輿論と準備をそこまで持つて來るのにも相當の努力を要したが今では既に國內の大勢も大量移民の必要を痛感したやうだし政府當路者も國策として恒久的對策樹立に努めつゝあるから今後は續いて大量移民が實現するであらう、移民地は勿論未墾地の多い北滿だ、一村一部落を擧げての移民が總てに便利だと思はれる、對滿投資は主として滿鐵を通じて行はれるが今日迄は比較的順調に行つて居り日本の低金利策はよりよい結果を齎すものと思はれる日滿關稅問題に就ては尚多少殘された問題があるやうだ、日滿兩國は不可分關係にあるが、この間に高い障壁を設けてゐる事は滿洲國の發達に資するものでなく滿洲國が充實せねば日本を益するところも亦少いであらう、北支經濟開發は支那駐屯軍が强化された今日關東軍の直接干與すべきものでなく滿洲の接壤地帶が平穩化する事を期待してゐるのみである、國境問題は既に數十回に亘り繰返し喋らされたが國境紛爭と戰爭とは同一に見てはならない、戰爭はそこへ行くまでの諸種の原因があつてこそ起るので單なる國境紛爭はこれとは別である、戰爭にならない紛爭に一々神經を焦つかせるのは大國民の襟度とは言へない、滿蒙國境問題は外交に移す事に異存はないが昨年一度決裂してゐるのだからその決裂原因を探究しこれを除去するに非ずんば改めてやり直しても無駄な事は勿論である要は先方に誠意があるかどうかゞ問題で誠意さへあれば小さな前提條件等は意とするに足らぬであらう

尚同中將は十三日朝大阪に下車して同地官民と懇談の上同日大阪發、十五日新京着の豫定である

許大使も乘り氣

十河社長と提携策を懇談 近く具体的に折衝

【東京國通】我對支經濟工作については現內閣の大陸政策强化方針に呼應して最近民間に於ても對支工作機關興中公司を中心に日華貿易協會其の他と共にやうやく具體的活動に入らんとして居るが、十河興中公司社長は十日駐日支那大使許世英氏と大使館で會見し日支間の政治的摩擦を避ける爲には支那側が此際日本の經濟的實力を十分認識し、速に誠意をもつて日支經濟提携の具體化を圖るべきであると、その促進を要望せるに對し許大使も全然同感なる旨を述べ今後本國政府を鞭撻し其實現に盡力する旨を約した、今後機會をみて具體的問題につき折衝が行はれる筈である

西南派の領袖 胡漢民氏逝く

蔣氏積極的に乘り出さん

【廣東十二日發國通】西南派の領袖胡漢民氏は十日來廣東の私邸に於て療養中であつたが十二日午後六時腦溢血のため昏睡狀態に陷り遂に同七時四十五分逝去した、享年五十一

【廣東十三日發國通】十二日急逝した胡漢民氏の葬儀は本十三日午後四時中山記念堂に於て行はれることとなつた

【上海十三日發國通】中央と西南との關係が頗るデリケートに動きつゝある際胡漢民氏の急逝は支那政界に異常な衝動を與へるに至つたが蔣介石氏は胡漢民氏を失つた西南側の弱點を巧みに捉へ統一國策に積極的に乘出しこれを機會に一擧に中央西南合作を成就するものと注目さる

南京、西南關係に大變動か

【廣東十三日發國通】胡漢民氏は昨年六月九日飄然外遊の旅に上りスヰスその他に病を養つてゐたが、氏の滯歐中昨年秋の國民政府大改造に際して中央の對西南工作の一として中央常務委員會主席に任命された、斯くて氏は本年一月歸國したが南京に於ては中央の要人を續々南下させ氏の北上を促したに拘らず病なほ癒えずと稱し西南のため中央抗爭の標幟として依然廣東に止つて居たものである、胡漢民氏の逝去は從來の南京、西南關係に一大變動を與へるものとして西南領袖に大衝動を與へ彼等は早くも對策腐心にしてゐる

國際運輸で 河豆混保實施

松花江筋富錦、樺川、佳木斯三姓に於ける碼頭營業所では社線北鮮線向け出港の河豆に對しては去る六日より社線、國線、北鮮線直通混合保管の受寄地取扱を開始する事となつたしかして右一切の取扱には國際運輸が之に當ると、尚右取扱の特異點は左の如し

一、本年は河筋の碼頭に於ける責任を鐵道側で負擔する

二、混保證券は受寄地で發行する

三、拔料（檢查料と荷主院內特別取扱料）は國際運輸會社をして收受せしむ

（イ）一部檢量合格の場合一口につき七圓、特別料九圓、合計十六圓

（ロ）全部檢量の場合、一口につき十五圓、特別料十一圓、合計二十六圓

何れも昨年に比して七、八圓の低廉となつた因に右混合保管實施期間は十月までゞある

今村副長一行 歸任

出張中の今村參謀副長、田中中佐、松澤大尉は本朝九時五十分着飛行機で錦州より歸任した

エ代表の出席から 伊代表退場す

不安に息詰る 聯盟理事會

【ジユネーヴ十一日發國通】聯盟理事會は十一日午後四時四十五分非公開で開會されたエチオピア代表としてマリアム公使は定刻前に出席し開會を待つてゐたところイタリー代表アロイジ男はこの實情をみて聯盟理事會が同公使を正式代表として待遇する方針なることを豫斷し急遽ローマに長距離電話を申込みムツソリニ首相の指示を仰いだ、通話後アロイジ男は緊張の面持で再び着席、愈よ議事日程の討議に入つたが議長イギリス代表イーデン外相が伊エ兩國間の紛爭を上程正式にエチオピア代表マリアム公使の出席を要求するやアロイジ伊代表は憤然自席に起立し「エチオピア帝國は全く解消しイタリーに歸した、從つてイタリー政府としてはエチオピア代表が理事會に出席するのを容認出來ぬ」と爆彈的宣言を叩きつけた上騷然たる議場を尻目にロツコ聯盟局長等の代表團を帶同し劇的退場を斷行した、理事會は劈頭豫想外の波瀾に息詰まる不安を呈したが、イーデン議長は聊かも騷がず目下のところ手續問題を審議して居るものだと述べる、次で午後五時十五分理事會は議事を公開して一般議題の討議に入つたが、エチオピア代表は直ちに退場、代つてイタリー代表アロイジ男が着席して同五時五十分理事會は不安裡に散會した

伊大使外務省訪問 エ國併合通告

【東京國通】駐日伊太利大使アウリツテ男は本國政府の訓令に從ひ十二日午前十一時外務省に堀內次官を訪問、伊太利政府はエチオピア領土を併合するに決した旨を正式に通告、併せて在エチオピア既得權益尊重の旨を述べ、帝國政府の諒解を求めた、これに對し堀內次官はエチオピアの實際的權力が既に伊太利政府に掌握されてゐる今日に於てエチオピアに於る邦人の生命財產の保護並びに一切の權益擁護は伊太利政府の實際的措置を必要とするものなる事を述べ、帝國既得權益擁護の萬全を期すべきを期待する旨を要求する所あつた

衆議院豫算總會 一般質問終了

けふから各分科會に移る

【東京國通】衆議院の豫算總會は十二日午後一時四十五分再開、野田文一郎君（政）選擧肅正に關し廣田首相、潮內相、林法相と問答、木村正義君（政）軍部の政務官を減少したことを勅令違反なると敲き、永野、寺內兩相何れも目下詮衡中と逃げ、杉浦武雄君（中）「今回の事件は五・一五事件の處罰が輕かつたからではないか」と突込めば、寺內陸相より「それが原因の一つではあつたと思ふが全部ではない」と答へる、更に

杉浦武雄君（中） 軍の命令が絕對であるとすれば今回の叛亂軍の內で兵にして起訴されたものありとすれば如何と詰め寄れば

寺內陸相 この問題については其の邊で止めて貰ひ度い

と高飛車に停止を申出るも杉浦君尙も執拗に絡み二・二六事件に就て述べ、陸相簡單に答へる、小林三郎君（中）滿洲の移民問題に關し政府當局に二、三質問し、龜井貫一郎君（社）は軍需工業の國家統制の必要を力說、寺內、馬場兩相はこれに同意し、更に對支工作に就ては經濟問題に重點を置くべしと述べれば

有田外相 互惠稅率の締結等は將來考慮すべきものである、對支三原則が經濟工作と別個なものゝ樣に考へる事は間違ひで、皆三原則の中に含まれるものである、對露問題は急迫した問題とは思つて居ない

次に伊豆富人君（國同）憲政政治の擁護に關し廣田首相と押問答をなし、午後六時五分休憩、午後七時十九分再開

深澤豐太郎君（政） 滿洲國の日系官吏を日本の官吏として置く考へはないか

寺內陸相 日系官吏は純然たる滿洲國官吏であるから左樣な考へはない

深澤君 將來研究の上實行の意思なきや

陸相 御意見として承つて置く

深澤豐太郎君（政） 岡田前首相は當時の事情から察すれば臣節を盡さなかつた非難がある、一體岡田前首相の存在を上奏して居たのか、その間の事情如何、當時の閣僚として多少無責任の節があつたのではないか

と當時の責任を難詰する

廣田首相 生存して居た事情は多分天聽に達して居たと思ふ

と釋明、深澤君語氣鋭く平生文相に漢字廢止論の放棄を迫り、更に

伊勢大廟に參拜を終つて後これで雜用が濟んだと言つて居るが漢字廢止論と併せてその心境が不敬極まるものではないか

と飽迄文相の態度を難詰するも平生文相頑張つて漢字廢止の自說を固持する

三好榮次郎君（民）高橋熊次郎君（政）松田喜三郎君（民）漢那憲和君（民）中村嘉壽君（政）中村三之丞君（民）の各氏夫々地方問題及財政問題を携げて各相と渡合ひ

永田良吉君（政） 日支民間國際航空の開設は焦眉の急務だ

と言へば廣田首相、有田外相共に

此の問題は一度纏まる所まで行つて居たのであるが支那側で交涉中止の形になつて居るから實現に努力する心算である

と述べ、小林奇君（政）人權蹂躪問題等をむし返しこれにて一般質問全部を終り、同十時廿八分散會した、斯くて四日間に亘る同會で前後四十七名の質疑を了する好成績を收めたので川崎委員長より委員の精勵に對して感謝の辭があつた、かくて十三日より各分科會に移る

首、陸、藏三相

積極統制經濟の必要を言明

【東京國通】廣田內閣は組閣以來庶政一新を標榜し經濟機構に關して相當根本的改革を斷行すべき意氣にあつたに拘らず議會に於て廣田首相は經濟的活動は自由主義を原則とする旨答辯し革新政策も些か龍頭蛇尾の觀があつたが十二日の豫算總會に於る木村正義（政友）龜井貫一郎（社大）兩君の質問に對して廣田首相は或程度積極的統制經濟の必要なる所以を認め、更に馬場藏相並に寺內陸相は特に龜井君の質問に對し國防的見地よりして重要產業の積極的統制に進むことが我國現下の情勢より見て適切なるべき旨を承認し、馬場藏相は經濟の積極的統制策として場合によつては投資の統制をも敢て實行すべき旨を答辯せる外賴母木遞相も電力國營に關する確固たる信念を言明した

京大醫學部長更迭

【東京國通】京都帝大醫學部長戶田正三氏は今回辭表を提出、十二日左の如く部長更迭が發表せられた

京都帝國大學教授 前田鼎
補京都帝國大學醫學部長

京都帝國大學醫學部長 戶田正三
依願京都帝國大學醫學部長を免ず

戰爭想像物語

出版は取締り

【東京國通】最近の緊張し切つた國際時局に刺戟されて將來の戰爭を想像した物語が出版界に氾濫して大衆の興味をそゝつてゐるが、それ等の物語は往々にして他國の感情を害するやうな場合が少くなかつたところ偶々今回の貴院本會議で某海軍豫備少佐が執筆した日英必戰論といふ書籍が日濠通商關係に惡影響を與へた事實が問題となり有田外相はこの種戰爭物語の出版に對して嚴重に取締ることを言明して注目を惹いた、即ち阪谷芳郎男が

日英必戰論なる書物はその中にある「若し日英が戰端を開けば日本は容易に濠洲を占領することが出來る」といふ文句が愈々濠洲政府に恐怖を懷かせ、それまでレーサム外相等が來朝して日本に信賴を寄せてゐた濠洲はこのやうな考へを日本が持つてゐるならば今後必要な物資は日本から買はないで、英本國から買ふと言つてゐるに對し釋明をするのに非常な苦勞をした

と質問したのに對し、有田外相は

外務省としては國際親善を毒する無責任なる書籍が出ない樣に相當の處置を講じて居るから、どうか安心願ひ度い

と明瞭に答辯したので、これからは徒らに他國の神經を昂らせる戰爭想像物語りの出版は嚴重に取締られる筈である

竹下州廳長官

【大連國通】竹下關東州廳長官は令孃ちゑ子さん（二二）の結婚式に出席の爲十二日午前十時發吉林丸で東上した

人事往來

▲吉田電業社長 十三日午前歸京 ▲渡邊正太郎氏（滿鐵）十三日午前吉林へ ▲家永茂氏（鐵道協會員）同內地へ ▲林良吉氏（同）同 ▲安達豐氏（大藏省官吏）同ハルビンへ ▲中山喜久馬氏（關西ペイント會社）十二日午後ハルビンへ ▲森清氏（同）同 ▲酒見恒太郎氏（同）同 ▲藤田一郎氏（西安煤礦公司）同奉天へ ▲大瀨欽也氏（同）同 ▲橫山秀三郎氏（外務省官吏）同天津へ ▲西勝造氏（著述業）同來京國都ホテル ▲小島鉦太郎氏（倉庫業）同 ▲有本榮次郎氏（三井物產）同 ▲澤金次氏（同）同 ▲石崎良行氏（會社重役）同 ▲福□頴道氏（南滿鑛業）同 ▲橋本文治氏（鑛山業）同 ▲永井四郎氏（關東軍囑託）同 ▲宮本重房氏（貿易商）同 ▲石坂淸重氏（著述業）同 ▲大久保寬氏（同）同 ▲梨木祐平氏（同）同 ▲板原壽氏（自動車運輸業）同 ▲小宮館助氏（ビール會社）同

▲十三日午前市內へ ▲井衍敬治氏（陸軍中佐）同東京へ ▲佐藤正俊氏（哈市公署總務處長）同來京名古屋ホテル ▲藏田元治氏（德泰公司）同 ▲新田寬氏（滿鐵）同 ▲後藤元三氏（商業）十二日午後同 ▲佐々木靜雄氏（同）同 ▲武川治氏（會社員）同 ▲末永溫了氏（僧侶）同雞冠山へ ▲佐々木泰澄氏（同）同安東へ ▲高山龍晉氏（同）同吉林へ ▲筒井茂樹氏（同）同本溪湖へ ▲能登谷英雄氏（同）同敦化へ ▲後藤俊司氏（同）同京城へ ▲佐野茂氏（日滿觀光會社取締役）同來京ヤマトホテル ▲靑井庸太郎氏（會社員）同 ▲榎本安治郎氏（同）同 ▲吉田順造氏（同）同 ▲白石春雄氏（同）同 ▲古田正雄氏（ジヤパン・ツーリスト・ビユーロー員）同 ▲山口明氏（官吏）同 ▲田中知平氏（泰東洋行支配人）同 ▲芳賀靜氏（棉花公司社員）同奉天へ ▲奧村愼次氏（滿鐵）同大連へ ▲進藤鼎氏（機械製作業）同奉天へ ▲早川正雄氏（日滿實業協會）同ハルビンへ ▲槇哲氏（鹽水港製糖會社々長）同大連へ ▲槇有恒氏（同社員）同 ▲高橋德衞氏（會社員）同奉天へ ▲鈴木光美氏（同）同 ▲平井千乘氏（新聞記者）同ハルビンへ ▲染谷保藏氏（盛京時報社長本社代表）十三日朝歸奉

團體

▲新愛知新聞社團 十三日午前六時二十五分奉天より、同七時ハルビンへ ▲日本旅行協會主催北支鮮滿視察團三十五名 同七時來京同九時十分ハルビンへ ▲京城第二高等普通學校生百三十四名 同七時二十分吉林へ ▲中央日語學院生百名 同 ▲福岡縣東築中學生二百名 同七時三十五分奉天より ▲三重縣師範學校生八十名 同九時十分ハルビンへ ▲大連日本橋小學生百五十名 同午後二時奉天より ▲奈良女子師範生四十一名 同午後四時奉天へ ▲鐵嶺家政女學校生三十五名 同三時五十分ハルビンへ ▲鐵道協會第二班百六十四名 同五時五分着 ▲阿城縣師範學校生五十三名 同六時四十分來京同十一時ハルビンへ ▲竹本喜三郎商店招待團三十名 同七時四十五分奉天より同十一時ハルビンへ ▲大牟田商業生七十二名 七時四十分來京新都旅館投宿 ▲旅順第二小學校生八十一名 同十時奉天へ ▲すわらじ劇團四十五名 九時四十五分着京同十一時ハルビンへ ▲鞍山富士小學校生徒百五十五名 同十時四十五分來京同十一時ハルビンへ

乳房ある悲み（八十三）

（禁上演上映）

中西伊之助
泉武久畫

箸の下に泣く（三）

三人は、小屋の片隅にかたまつて、ヒイヒイと泣いてゐた。飢ゑと寒さのためばかりでなく、團長の鞭で打たれた背中や尻の傷が疼くのだ。

勿論、彼等は空腹で眼まひがしさうであつた。

『何か拾ひに行かう』

と、中の一人がいひ出した。

その小屋のあるあたりは、夜店が出た、そして朝早くそのへんを探すと、果物の腐りかけたのや、運のいゝ時には饅頭の食ひかじつたのなどが落ちてゐた。

『うん、行かう』

と、トムもいつた。

三人は出かけて行つた。そして三人は、犬のやうに、昨夜出てゐた夜店の跡を嗅ぎ廻つた。古新聞紙が寒い風に舞ひ上つてゐる外、剝ぎすてた蜜柑の皮が散らばつてゐる外、彼等三人の望むものは、何一つ見あたらなかつた。

一番下の、七つになる、ジヨヂといふのが、先づ泣き出した。ジヨヂは馬をさばしながら、その背中に逆立ちする藝を稽古してゐるのだが、今日は二度もすべり落ちたので禁食になつたのである。

二つ年下のジヨヂが泣き出すと、トムも泣き出したくなつた。ジヨヂの幼い、いたいけな姿を見ると、トムは悲しかつたのだ。

『ジヨヂ、泣くんぢやないよ今に僕が何か見つけ出してやるからな……』

トムはジヨヂの肩に手をかけてさうなぐさめてやりながら、彼は眼を丸くして地べたに落ちてゐるものを熱心にさがし步いた。

ふと、そこの町角の家の前に來た時、トムは一つのものを見出した。そして彼はあたりを見廻した。たれも彼を注意してゐるものはなかつた。豆腐屋の荷が、そこに置かれてあつたのだ。その荷の上には、白樺色のうまさうなおからの握つたのが幾つも乘つてゐた。狐色の揚げ豆腐が重なり合つてゐた。

『ジヨヂ！ジヨヂ！』

と、トムは聲をひそませて呼んだ、そして、も一度あたりを見廻した。……

豆腐屋は荷を置いて、橫路次にでも註文を持つて行つてゐるのだらう……それを見すましたトムは、いきなり、おからの握りを二つ三つと、揚げ豆腐を三四枚ばかり引つかかへると、

『ジヨヂ！ジヨヂ！』

と叫びながら、彼は小屋の方へかけ出した。

路の向ふ側でそれを目擊してゐた町の人が、大聲で叫んだ。

折柄、路次から出て來た豆腐賣りの男は、町の人に注意されて、豆腐をかかへて向ふへかけて行く子供の姿に氣がついた。

若い豆腐賣りが、間もなくトムを捕へた。

『この野郎！』

豆腐賣りは拳骨をかためてトムをなぐりつけ、襟筋を攫んでこづき廻した、おからは雪のやうに散り、揚げ豆腐は土にまみれた。

『貴樣はどこの小僧だ、太い野郎め！』

豆腐賣りは怒鳴りつづけた。

『おぢさん、御免よ！』

トムは泣き咽んだ。

『この小僧は、向ふの曲馬團にゐる奴だ』

『何、曲馬團の小僧か、よしそれでは團長に談判して豆腐代を辨償させてやらう！』

豆腐賣りは、トムを猫のやうに釣りあげて曲馬團の小屋の方へグングンと引きずつて行つた。――トムとは、高山義任の子、齋の弟で、五萬圓の養育料をつけて秘密に養子にやつた男の兒であつた。

西歐の旅は鐵路で 十五日から便利に
旅客、手荷物連絡運輸規定 全面的に大改正

從來シベリヤ經由歐洲方面行旅客並に手荷物の運賃は高率であつたが滿鐵は五月十五日から歐亞旅客及手荷物連絡運輸規定中左の如く改正したが今後シベリヤ經由旅行者には非常に便利となつた要旨を示せば

△ソヴイエト鐵道内運賃改正は從來同鐵道者の運賃は通過運賃に比較して高率なりしところ今般之を改め、旅客並手荷物運賃に於て何れも約五割の引下をなし之と同時に通過運賃も旅客に於ては約八分手荷物に於て約四割の引下を爲した

△ポーランド鐵道内運賃改正—同鐵道者運賃は團體旅客に於て約三割手荷物に於て約一割同通過運賃を個人旅客に於て約四割團體旅客に於て約二割五分手荷物に於て約一割何れも引下をなしたり

△大連驛設備乘車券追加—大連驛に於て從來設備の本邦連絡乘車券はハンブルグ、アルトナ、プラーグ、ウイーンの四驛著のものなりしが旅客の利用状態を考慮し新にワルソー、ベルリン、ロンドン三驛著のものを追加せり、なほベルリン以遠著驛に對してはワルソー經由及チルジツト又はリガ經由に共通の乘車券を設備し從來共通の運賃を表示し來れるものも今回の運賃改正によつて上記各驛連絡運賃に相當の差額を生ずるに到りたるを以て右運賃各經路別表示することとしたので旅客の指定したる經路相當旅運賃を以て乘車券發賣方を取計ふ

方面委員大會參列者に運賃割引

五月二十五日から二十七日まで岡山市で開催される中央社會事業協會主催第七回方面委員大會參列者に對し滿鐵では左の通り割引をなす

▲期間五月十五日—廿七日まで社線連絡各驛より局線又は商船大連航路經由岡山驛行▲通用期間—乘車券發賣の日より六月六日まで二三等往復に限り五割引商船大連航路三割引

優良兒候補は
あす午後一時半までに 滿鐵醫院へ來て下さい
再審査を行ひます

第七回乳幼兒審査會にて優良兒候補に選ばれた五十三名の乳幼兒の再審査は十四日午後一時半から滿鐵新京醫院小兒科診療室で行はれるが各候補者は同日定刻までに出席されたいと

逃走中の強盗犯人逮捕

十三日午前零時三十分ごろ南關朱家大屯山東省生れ農業劉振聲同隣家王廣奇方へ棍棒を所持した強盗が押入り家人を脅迫し同家にあつた麻縄で家族八人を縛り上げ夜具をかぶせ室内を物色し劉方の布團八枚、衣類八點、王方布團三枚毛布一枚、衣類四點現金二圓を強奪逃走した、屆出に接し所轄南關署では直に管内に非常線を張り首都警察廳司法科捜査班の應援を得た結果犯人が贓品を所持し午前三時ごろ吉林大馬路に沿ふて逃走中を發見し見事逮捕した、取調べたところ犯人は東三馬路王振江（三六）同李景春（五四）陳興志（三一）、賈維全（二五）の四名と判明した

御神燈ゆらぐ

春季大祭（十五日）を明後日に控へ目下新京神社では植村宮司以下全神職がこれが準備に大童であるが、神社境内の樹木もすでに芽生へてそのすがすがしい新緑は一段の輝きと荘厳さを添へてゐる、多數人夫は角力、弓場等のやぐらの建設に營々として立ち働き神社本殿右側には八千代館主篠竹三郎氏の寄附になるお供物、御酒、お禮の受與所が經費五百圓をかけて竣工に近く十五日のお祭に今一息の有様である、一方街には既に御神燈のかゝげられた町内もあり十四日の宵宮祭をまつてゐる

進行中の列車から親子三人失せる
徐行中を到着と誤り飛降り 負傷したまゝおいてけぼり

進行中の列車から旅客三人が消へて無くなつた奇怪事が南滿線新京近くで起つた、尤とも間もなく誤つて飛び降りたものであることが判明したが…十二日夜十時四十五分新京に着く旅客列車が孟家屯を過ぎ南新京驛に向ふ途中、出稼ぎ滿人を滿載した三等車内は赤く夜空を彩る灯の色を望んで新京だ新京に着いたと騒ぐ群を制止し廻る乘務員が、フト今見たばかりの親子連れらしい滿人三人の姿が見へぬのに不審を抱き、探したが判らず、間もなく列車は南新京驛に着き、その旨を驛長に報告驛長、驛員、驛詰警官等が線路に沿ふて探して行くと南新京と孟家屯の中間で三人一塊になつて呻いてゐるのを發見新京驛と連絡同仁醫院に送り應急手當を施した、線路の勾配の加減で列車が徐行してゐる際、驛に着いたのと早合點し、先を爭つて飛び降り多明生（六二）は頭部に裂傷三ケ所、長男文清（一三）左眉間に裂傷一ケ所、次女小直子（四才）は頭部に打撲擦過傷四ケ所と悉く傷つき倒れたのであつたが何れも輕傷、新京に先着してゐる多の弟夫婦に引渡された、この一族は奉天省西豐のもので哈爾濱に出稼途中であつた

乞食の死体

市内吉野町三丁目記念公會堂裏庭の塵箱内に二十七、八才滿人乞食風の死體がはいつてゐるのを從事員が發見した、檢視の結果心臟麻痺で二日程前に死亡したものらしい

永樂町に赤兒の死體

十三日午前六時ごろ市内永樂町三丁目十五番地先路上に赤兒の死體が素ッ裸にして遺棄してあるのを通行人が發見新京署に通報、檢視の結果日鮮滿人不明の女兒で死後既に數日を經過頭部は腐敗してゐる點から貧困滿人が分娩後殺害して一旦隱しおき腐敗しかゝつたので犯罪發覺を恐れ昨夜前記場所に運んだものらしい

結婚三組

原籍栃木縣足柄郡、現住所ハルビン特別市馬家溝黒山街十五實藏氏四男ハルビン特別市公署官吏佐藤拓四郎氏（二九）は今回新京特別市永祥胡同九十七江幡寛夫氏の媒介にて本籍秋田縣現住所關東州金州南山麓前文教部督學官岩間德也氏次女靜江（二四）さんとの間に婚約整ひ十二日午後三時より新京神社において華燭の典を擧げたが引續き同時より大和ホテルに多數關係知友を招き盛大な結婚披露宴を張つた、なほこの日大安の吉日をトして左の二組の神前結婚式があつた

▲原籍福島縣現住所新京和泉町一丁目七ノ一寅三郎氏四男渡邊四三（二七）氏と現籍兵庫縣現住所新京花園町二ノ十一忠好氏妹堀邊艶子（二七）さんは新京花園町二伊藤吉太郎氏の媒酌にて—擧式午後五時

▲原籍熊本縣現住所公主嶺白巣寮吉雄氏弟有田萬吉氏（三三）と原籍大分縣現住所新京東二條通山形屋旅館渡邊雪枝（二四）さんは新京花園町四ノ九佐久間退鶴氏の媒酌にて—擧式午後四時

王道國家に則せる教育令を制定
＝三民主義的制度は排撃＝

滿洲國に於る初級四年、高級二年の初等教育制度は元來支那が米國の自由主義的教育方針を踏襲し民國十七年以來繼續實施され滿洲國建國に至りても之を採用し來つた教育制度であるが、右制度は既に王道國家として完全に獨立せる滿洲國の教育方針に伴はざるものなりとの見地から滿洲國情に最も適切一貫せる教育方針を制定し從來の支那の理論教育より脱脚した滿洲國の國是たる道德教育、實業教育に矯正せんと文教部當局に於ては豫てより教育令の制定を企圖し王道教育を基本に先進日本の現行制度或は歐米の制度を參酌、鋭意之が調査研究を進めつつあつたところ漸くその大綱を得たので愈々建國以來の懸案たる教育令を制定、以て回ラン訓民詔書の大精神に基く國民教育の根本方策を樹立する事となり目下同部全體をあげて法案の起草を急ぎつゝあり該法案大綱の完了を待つて一般の教育家權威者を網羅して教育令審議委員會を特設完全なる檢討を加へ遲くとも本年中には發布を見る

豫定 でこれに依つて國家百年の教育方針が樹立される事となつた

街の日記

モンテカルロ新人挨拶來社

モンテカルロ舞踏場に今回東京より新しくデヴユーした渥美洋子、佐久間銀子、渥美耿子、江川美沙子、須賀エミ子の諸孃は十三日挨拶のため來社

西氏講演盛況

西式健康法の創始者西氏の講演會は滿鐵新京地方事務所社會係の主催で十二日午後七時卅分から記念公會堂第一集會室で開催されたが聽衆堂に溢れる盛況裡に十一時閉會した、なほ十三日午前九時から白菊會館に於て西氏健康法の實習を行つた

忠孝會幹部來社

大日本帝國忠孝會長松本勇七同幹事村上光夫兩氏は十三日本社へ來訪したが北滿旅館に滯在、同會の趣旨普及に當る筈

カフエーハコネ

市内大和通りカフエーミスハコネでは半月前からホールの改裝中であつたが漸く竣工十四日から開店する事となつた階下ホールには南國情緒豐かた砌を配し階上ホールは百人迄の宴會は引受けられるとふ、その上女給も内地より直輸入の粒撰りの美人約三十名待機中とある

あす（十四日）

▲戰死者遺骨二十一體離京、午前九時三十分▲電業藤井、川副兩氏社葬、午後三時軍人會館▲優良兒再審査 午後一時、滿鐵醫院小兒科▲自轉車檢査、日本橋通派出所管内▲中野四郎氏着任、午後五時四十三分▲台北州物産展示會第一日、記念公會堂▲彩票開彩 午前十時 市商會▲五九郎劇第一夜、午後五時公會堂

今晩の主なる演藝放送

▲七・〇〇チエロ獨奏（東京）▲七・三〇舞臺劇（大阪）—浪花座より中繼—荒神山神田伯山・口演

今夜は金剛寺へ！勇士のお通夜
明朝無言の凱旋の途に上る

北滿の討匪行に名譽の戰死を遂げた皇軍勇士の遺骨は十三日午前十一時三十分（京圖線）から一體午後三時四十分（京濱線）着列車で十體到着市内祝町金剛寺に安置して軍關係其の他有志で懇ろに御通夜を爲し、十四日午前九時三十分發曩に新京に假安置の十體を併せ二十一體奉天へ向け戰友が送り届けることゝなつた

上戸邦彦氏は大林組葬

鶴崗發電所建設工事現場に赴く途中共産匪に襲はれ、電業社員と倶に殉職した大林組上戸邦彦氏の遺骨は十二日午後三時着京曙町經王寺に安置され同日午後八時發列車で大連に向つたが大林組では去る十六日午後四時より大連春日町大連寺に於て組葬を執行することとなつた

ダンサー説論

ダンサーの前借踏み倒し事件頻々—さきにモンテカルロダンサーの前借踏み倒し事件があつて領警で最近やつと解決したところ今度も又モンテカルロダンサー馬場タネコ、同島根良子兩人がハルビンダンスホール明星で前借二百二十圓を踏み倒し新京に逃走し更に奉天に隱れ再び新京に舞ひ戻りモンテカルロで何喰はぬ風を裝つてゐるところを明星の告訴で領警署に呼出され嚴重な説論をされた

あすはお樂しみの 彩票一萬圓

あす十四日は第二十六回福民獎券の抽籤日である、例によつて一攫萬金を夢みる人々が指折數へて待つてゐた日であるから抽籤場新京市商會の當籤番號掲示の前はこれらの人々の群で犇き渡り、得意の人失意の人の顔色がありありと讀めることであらう

新京武道會發會式打ち合せ

二十七日海軍記念日をトして盛大に擧行される新京武道會發會式の打ち合せ會議は十二日午後四時から記念公會堂に於て開催發起人たる日滿武道者出席種々協議の結果大體左の如く意見纏り關係方面の承諾を得て決定を見る筈である

▲會場西廣場小學校講堂▲開會時間二十七日午後一時▲開會の辭高山社會主事▲式辭武田胤雄氏▲經過報告▲柔道古式の型（山岡五段、藤原五段の豫定）▲帝國劍道の型（石井藤下兩錬士の豫定）▲試合開始▲賞品授與▲閉會の辭▲萬歳三唱閉會

なほ當日は柔道選士五十名、劍道選士七十名出場の豫定である

新電報取扱局

滿洲電信電話會社では來る五月廿一日より左記各地電報局に於て和文電報の取扱を開始することゝなり關係各方面に通達した

濱江省 海林電報電話局
同 雙城電報電話局
三江省 湯原電報局
吉林省 陶賴昭電報局
同 楡樹電報局

爲替、貯金等の取扱期間臨時短縮

來る十五日新京神社春季大祭當日新京中央郵便局並市内各局所（軍司令部内局を除く）では祝意を表するため爲替、貯金、其他各種現金取扱時間を左の通り短縮すると、午前八時より正午迄

西廣場優勝

滿鐵新京各箇所對抗體育ボールの發會は十二日午後四時半から地事裏新設コートで開始第一日西廣場校對保安區戰は二對零で西廣場校が優勝した

チエコ商務參事官 松岡總裁訪問

【大連國通】大連滯在中のチエコスロヴアキア國商務參事官ローサー・グルーンワルド氏は十一日午前滿鐵を訪問、松岡總裁と會見、挨拶の後グルーンワルド氏より滿洲國訪問の目的を述べ總裁の助力を求めたに對し松岡總裁は充分協力する旨述べたが總裁は近く新京に赴く事になつて居るので歸連後具體的折衝に入るものと見られて居る

娘々祭を賑かに 哈鐵の肝いり

【ハルビン國通】哈鐵旅客科では愛路思想の普及並びに旅客誘致の爲め、來る六月六日から九日迄木蘭、綏化、拉林の各地に於て縣當局者と協力し恒例の娘々祭を盛大に催す事となつた、本年は打上花火の中に彩票を仕掛け一等は豪豚、二等は愛路ランプ、三等は愛路繪本及び鉛筆等を賞品として與へる、此の外各地に施療班を派遣し又支那芝居等の催を行ふが旅客に於ては三棵樹を起點として運賃五割引をなす

馬車の忘れ物

▲五月一日契約書三枚大經路警察署保管▲同皮製手提一ケ（袋、化粧品在中）同▲五日テニスズボン一シャツ一同▲同網入（一ケ）野球ボール十個在中同

天氣と氣温

明日の天氣 北東の風晴
日の出 前四時十五分
日の入 後六時五十六分
月の出 前〇時十四分
月の入 前十時五十八分
けふの氣温 最高十九度八 最低七度

山岡部隊戰死者故國へ

【ハルビン國通】山岡部隊隸下最初の犠牲者として名譽の戰死を遂げた故伊林德松少尉以下の三勇士及び〇〇〇〇隊戰死者の合同告別式は十二日午後四時より當地西本願寺に於て嚴肅に執行された、尚ほ遺骨は十三日午前九時四十分發列車で故國に向け悲しき凱旋の途につく筈である

勝太郎一行吉林へ

小唄勝太郎、小林千代子、德山璉の一行は新京での豫定を終り本十三日午前十時二十分吉林に向け出發したが一行は本夕吉林にて唄ひ明日吉林發ハルビンに向ふ豫定であると

四月の新京金融界 著しく活況呈す

土建着工、春物商品仕入等で

土建の春季着工、春物商品仕入等に影響されて四月の新京金融界は著しく活況を呈し組合銀行の預金貸出は前月並に前年同期に比し激増を示してゐるが國幣は五千四百七十七萬五千五百三十九圓で前月に比し十二萬三千九百三十七圓増、金票は千四百九萬千五百五十一圓で先月に比し百二十四萬二千八十圓の激增を來し鈔票のみは減少の一途を辿り四十一萬九千九百二十圓で先月に比し四千四萬九千九百九十一圓、前年同期に比し五十五萬九千七百九十七圓の激減振りである

內地商品を代販の 滿產準備進む

各地商會、有力者の聯合

滿洲國實業部指導の下に各地商會及び有力機關によつて奉天に大規模の滿洲産業株式會社を設置し、主として內地生產品の代理販賣及び優秀品の紹介を行ふことになり、去る四月十二日城內市商會、奉天商會の名を以て奉天、新京營口、吉林、哈爾濱、龍江の各地商會長その他有力者二十餘名を招致し會社設立の發起人總會を開催の結果奉天及び各地商會を主體として資本金百萬圓の共同出資として會社設立を決議し發起人側で約三十八萬圓引受け、他は滿人側參加者及び一部日本人側參加者によつて出資することになり、設立假事務所を新京驛前日升棧に置き目下準備中であるが、將來は奉天に本店を置き支店を新京、營口、吉林、安東、大阪等に設置し各地の五千圓以上の出資者を以て代理店とし近日一部開業の見込みで準備を進めてゐる

尚は當社の內容は左の如くである

資本金　資本金百萬圓の株式組織とし一株五十圓、二萬株に分ち一株券、十株券五十株の三種とす

存立の期間　本公司設立の日より向ふ二十箇年、滿期に至りたるときは總會の決議を經てこれを繼續することを得

目的　海外品の輸出入貿易各地生產品の賣買及び仲介委託販賣、代理販賣取扱商品、製造工業生產品並にこれに附帶する商品

決算期　陰曆一月末日

內地側重要商品取扱店　三井物產、三菱商事、大阪丸紅綿布、田中商會、昭和製鋼所、大阪貿易館

滿洲各主要都市に 貿易獎勵館を

—滿洲國に於て計畫中—

滿洲國に於ては目下日滿貿易獎勵館の計畫中であるが計畫案は創設經費六萬圓で同館附屬斡旋所を併設しその斡旋事務所を大興公司に行はせ各主要都市には同獎勵館辦事處を設け左の諸項の遂行を目指すものである

一、日本各府縣大都市產物の陳列紹介輸入取引の仲介斡旋

一、滿人商店のため前項輸入取引に必要なる資金の融通

一、滿人商店經營の改善指導

一、滿洲土產品の開發紹介取引の斡旋

一、滿洲土產品の企業化並に商品化に關する實際的調査研究並に指導

一、滿洲地方民及日本移民の副業獎勵と助成

一、滿洲鄉土工藝の復興並に北支工藝の移植

一、滿洲土產の紹介及創製の助成

一、その他滿商振興上必要なる諸事項

以上の諸事項を遂行する時には日滿貿易上新紀元を劃するものと期待されてゐる

東滿人絹パルプ會社 王子へ合併か

—果然獨立主義を放棄—

當初は飽く迄單獨で事業を經營せんとその孤立を誇つてゐた大川系東滿洲人絹パルプ會社がこの程王子系日滿パルプ製造會社との間に突如合併交渉を開始するに至つた模樣である

即ち同社社長たる大川平三郎氏並に同社の取締役で大川氏唯一の相談手として社內に隱然たる勢力を有する藤田謙一氏等は「滿洲のパルプ事業は國策としてこれを一社又は二社程度に統制し會社經營の基礎を確乎不拔なものとなし同時に資本的に彈力をもたせて各國のパルプ事業と力の均衡をはかることが絶對必要である」との見地から王子製紙社長藤原銀次郎氏と屢々會見して事業の合併を交渉してゐるのである

これについては王子製紙會社でも同社の對滿政策からいつて當初から合併を希望してゐたことなので原則的には贊意を表してゐるが合併條件については兩社夫々の立場もあつてお互に有利な條件を固執してゐるためスムースに進捗してゐるとは云へないが兩社の中堅幹部がお互に反撥してゐても最高首腦部の意向は合併に傾いてゐるので今後相當の迂餘曲折を經るとしても最早や合併は時期の問題ではないかと見られその成行に非常な注目が拂はれてゐる

二分野確立 國營的操業へ

右の如く王子製紙系と大川系の在滿パルプ企業が合併し、その實現が單に時期の問題と考ふるは滿洲に於けるパルプ事業が王子製紙系と寺田系の二社によつて統制運行されるものと觀測してよい

即ちこの合併が成立せばさきに王子製紙（日滿パルプ）と川西系大同興業との間の事業の提携と相俟つて茲に三社をうつて一丸とするブロックが形成され一方寺田系滿洲パルプ工業は三菱の積極的援助と中東海林との提携によつて鞏固な企業體を形成して前記ブロックに對することとなる譯であるから、滿洲のパルプ事業は茲に二大分野に分れることとなる譯である、何れにしてもこのことは我が對滿政策並びに國策としてのパルプ自給化といふ事と相俟つて非常に注目さるべきことで今後の成行が重視される所以である

治外法權への準備 滿洲國の產業に關する制度（上）

—及びその內國稅制度—

產業に關する制度

治外法權撤廢工作中最初に行はれるものは產業に關するものである。從來產業に關する制度は概ね外國の模倣であつて、滿洲國の國情に適せざるのみならず、一面著しく排他的な色彩を帶びてゐた。從つて新なる日滿の關係に於いて日本人の滿洲國に於ける產業的活動を保護するなどは到底及びもつかないところであつた

されば滿洲國は建國以來かゝる態度を廢棄し、日滿經濟の一體化、日本人の產業活動の保護を目標として順次新制度を打建てゝ來た。以下簡單に既に公布施行中のもの又は遠からず公布施行の豫定のもののうち在滿日本人の產業的活動に關係深い法規を列擧すれば次の如くである

一、工業所有權に關するもの　商標法、特許發明法、意匠法等十三件

二、度量衡に關するもの　度量衡法等四件

三、計量に關するもの　計量法等三件

四、鑛業に關するもの　鑛業法等八件

五、市場に關するもの　中央卸賣市場法、家畜交易市場法等四件

六、畜產に關するもの　賽馬法等二件

七、貨幣金融に關するもの　貨幣法、銀行法、金融合作社法（金融組合法）爲替管理法等十五件

斯く多數の法規を制定公布し以て完全に日本人の產業的活動の保護を期してゐる

內國稅制度

內國稅制度に就て述ぶれば次の如くである

一、稅制

滿洲國の內國稅制度に付いては建國の際、一つには民心の安定を圖る爲二つには事變に依り混亂弛緩せる租稅制度及徵稅機關を成るべく速に常態に恢復せしむる爲、暫く舊政權時代の制度を其の儘承繼踏襲することゝしたのであるが一應の安定を得たので新國家に相應しい永久の制度を樹立することゝしたのである其の計畫は第一期、第二期及第三期の三段階に分つて實施する豫定であるが、現在既に第二期計畫進行中、即ち第一次稅制整理の事業は殆ど其の終了を告ぐるに至つた

其の大體を述べれば

一、各省區々なる稅制を統一すること

二、收益稅に重點を置く簡且つ合理的なる租稅大系を樹立すること

三、新稅は課稅負擔の均衡を計る爲め租稅大系を調整する目的を以てする場合の外此れを創設せざること

土建ニュース

決定工事

▲長春大街一部車道碎石舖裝工事（國都建設局）落札　五千百五十圓　大同組

五、一七五・〇〇　葛井組
五、二〇・〇〇　四先公司
五、二六九・〇〇　飛島組
五、六〇八・〇〇　長谷川工務所
五、七四五・〇〇　椿組
五、八〇〇・〇〇　森本組

▲豐樂胡同附近下水管延長工事　單獨　三百四十四圓五十錢　後藤組

▲天慶胡同道形築造工事　單示　四百一圓三十九錢　四先公司

▲興亞街附近下水管延長工事　四六九・九二　四先公司

▲街架設工事用鐵桁取下工事　單獨　五千九百圓

▲堤防築造工事　開札　五月三日

▲京濱線拉吉河外二ヶ所橋梁街架設工事用鐵桁取下工事（哈爾濱鐵路局）

▲妨子山保線工區井戶掘鑿工事　落札　百九十五圓　井上組

▲敦化貨物防濕用具倉庫新築工事　落札　千六百五十圓

▲五常貨物防濕用具倉庫新築（吉林鐵路局工務處）落札　一千八百二十圓　日滿土木

▲新臺子驛二〇號倉庫擁避並ホーム舖裝新設工事　落札　九百三十八圓

▲鐵嶺驛待避施設新設工事　落札　千三百七十圓

▲鐵嶺河保線區材料置場擴張並モリッキ新設工事（奉天鐵道事務所）落札　千四百一圓五錢　福井組

▲淨月潭堰堤々上高欄假設其他工事　單獨　七百六十五圓　榊谷組

▲輕便鐵道一部撤廢並移設工事　單獨　一千八百九十圓　福昌公司

▲街路標名板修繕工事　單獨　六百二十圓　原組

▲第四埠頭築造の內假締切工事（西側）特命　五千五十六圓　福昌公司

▲沙巷間二〇〇K、二七米改築工事　落札　千三百二十圓

▲大連鐵道事務所

▲雨林堡河橋梁改築工事

▲濱北線綏化站貨物積下場增設並に木造要壁新築工事　落札　三千八百五十四圓

▲京濱線拉木河溝間外四ヶ所信號所右側　落札　四千七百五十圓

▲京濱線頑郷屯鎭家王崗間外一ヶ所信號所路盤新築工事　落札　九萬六千百五十二圓　新京阿川組

▲奉天十間房附近碎石車道並三角側溝築造工事（滿鐵地方部）落札　三千百八十六圓

▲奉天鐵西嘉應街外一ヶ所碎石車道築造工事　落札　六千九百二十二圓五十錢　鎮田工務所

▲安東滿洲國町並に北三條通

▲水布設工事　落札　二千九百五

▲新京住吉町附近下水道

▲奉天朝日高女增築工事　單獨　七萬六千五

▲東大橋左右護岸及堤防築造工事（國都）開札　五月三日

豫告工事

▲開通發電所新築工事（電業公司）開札　五月十九日

▲海浪變電所新築工事（滿鐵々道事務所）開札　五月二十日

▲大石橋機關區投炭練習場上家新築工事　開札　五月十二日

▲石河—普蘭店間七一K、三七五M第三張店舖取川上線橋梁改築其他工事　開札　五月十三日

▲濱町埠頭北側尚一部修繕工事（築港區）開札　五月十三日

長春酒

今や我が吉林は滿洲最高の都市として奉天、チチハルと共に市政が布かれた▲しかるにこれに伴ふべき商工業の發展の基本となり活動の原動力となる資金の運用機關が頗る寥々たるものである▲現在存立するものは僅かに中銀、滿銀、吉銀の三銀行と東拓の出張家屋貸付と昨年生れた吉林無盡會社であり何れも大衆本位の機關ではない▲今日必要なのは金融組合を創設することである、それには關東廳金融組合、滿鐵輸入組合等が模型となるであらう、在住邦人で獨立の生計を立ててゐる確實性のある者ならば組合員たる資格があり、組合員は各自適當な株を持つことになる最初から全額納付せずとも十個月に分けて納付してもいいであらう、しかして各自の持株とは別に最初より貸付が開始されやう、約手の切替等も事情によつては出來やう云々と以上は『大吉林』所載の一論である—「幾筋の强き根芽ぶく春であり」

商況欄

（五月十三日前場）

海外經濟電報

▲棉花　▲印棉　▲市俄古小麥　▲カルカッタ麻袋

金銀市況

爲替相場

▲上海爲替　▲大連爲替　▲阪神日米爲替　▲阪神日英爲替

各地株式市況

▲東京株式（短期）　▲大阪株式（短期）　▲大連株式（短期）　▲奉天株式

各地商品市況

▲大阪棉花　▲大阪人絹　▲大阪棉糸

各地特產市況

新京取引所市況（五月十三日前場）

[illegible]

十四日　木曜　丙申　友引　五月十四日

一白の人　我を慎むこと聽行より大なるはなし勉べし

二黑の人　金錢出ることあれども入ることも亦大なり

三碧の人　引立てもあれど敵を受くることも多し注意

四綠の人　十分の自信を以て進むときは何事も通達す

五黃の人　氣隨に振舞ふこと勿れ貞なれば引立あり

六白の人　物事七分まで達し跡三分にて難みあるの日

七赤の人　苦勞を仕拔きても效果はその割に揚らぬ日

八白の人　內に多少の行違ひありとも大體順調に運ぶ

九紫の人　燃る如き熱誠を以て進めば諸事通達すべし

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話（編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇）
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水舘內之介

豫算各分科會

航空國策の綜合一元化の爲 航空省設置せよ

＝永田良吉氏遞相に要求＝

【東京國通】十三日の衆議院豫算第六分科會に於て永田良吉氏は民間航空、國際的航空國策につき頼母木遞相と質疑を重ねた後

航空國策を綜合一元化するため航空省設置の必要がある、省の設置がむづかしければ航空院でもよいと思ふが如何

頼母木遞相 航空省設置問題は未だはつきりした意見がないが民間航空が遞信省所管にある限り最善の方法を以て發達助長に努める

金井正夫君 我國地勢上島嶼行政は極めて緊要であるが本土島嶼連絡を密接にするため航路國營の方策なきや

遞相 航路國營は民業との關係を考慮せねばならず又船舶國有については失敗の歷史を有してゐるので愼重考慮を要する、島嶼と本土との連絡については遞信省所管に於てラヂオをはじめ短波無電による通信機關によつて緊密を圖つてゐる

船田中君 外地海事行政方針如何

遞相 是非統一したいと考へてゐるがさう簡單にはゆかぬ

船田君 航路補助は主として大阪商船日本郵船の兩社のみに與へられて來たが近時の狀況は社外船の活躍目覺しいものがあるが社外船に補助の意思なきや

遞相 航路補助については國策的見地から再檢討してみたい

"海軍新充實 計畫を練つてゐる"

―海相分科會で答辯―

【東京國通】衆議院豫算第四分科會（陸海軍所管）は十三日午後開會、淸水留三郎（民政）八角三郎（政友）松本忠雄（民政）の諸氏から次の質問を爲した

一、無條約となつた際の建艦競爭に處する覺悟如何

一、艦船、航空機製造購入單價切下げを爲す意向なきや

一、無條約狀態に處する帝國の對策如何

之に對し永野海相より大要左の如き答辯があつた

帝國海軍の實力は無條約時代に入つてから何等の整備充實をしなければ一九四一年末には對米比率五割八分の劣勢となる、來年より無條約となる結果列國の海軍々備は劃期的變化を來す事は必至であるから國際情勢に對處する爲帝國海軍としては玆に新充實計畫を至急確立せねばならぬ、航空兵備の充實も同じく必要だその具體案は充分練つて居るが玆に言明は出來ない、尙民間軍需會社には取締を嚴重にして居る故軍需會社が暴利を貪つて居るとは思はぬ特に註文品の單價切下げには充分注意して居る、兵器の海軍の外國から購入する總額は僅に二千二百萬圓で全額の五パーセントにして主として油だが其他九十五パーセントは國內から買ふものだ、又海軍經常費は今後も膨脹すべく水陸整備費、軍需品購入費は當分增加するものと考へられたい

決算委員會

【東京國通】衆議院決算委員會は十三日午後一時卅分開會劈頭

福田關次郎君 登壇 拓殖移民事業に對する拓務外務兩省の關係如何

永田拓相 外地の利益を代表する意味に於ても監督等の點からも拓務省の存在は必要である、移民の主管長は拓相である

川村保太郎君 滿洲に對して政府は農業移民を考慮してゐるやうであるが商工移民については如何

拓相 現在は專ら農業移民に力を入れて居り商工移民については未だ考慮してゐない

岡幸三郎君 現內閣の計畫してゐる行政機構改正に際して拓務省は廢止しないといふ事は此際明言出來ないか

拓相 行政機構改正問題について未だ省の廢合の話はあつた事はない、拓務行政は今後益々擴大强化すべきものだ

と答へ午後四時五十五分散會した

第四分科會

【東京國通】衆議院の豫算第四分科會は十三日午後五時秘密會に入り松本忠雄外九氏より無條約狀態に對處すべき帝國政府の方針その他につき質問あり海軍當局より懇切なる答辯あり同六時八分散會した

十四日の兩院日程

【東京國通】十四日の兩院日程は左の如し

▲貴族院 午前十時より本會議を開き國務大臣に對する質疑應答をなすが田中館愛橘氏は國字問題について文相に、津村重舍氏は國體明徵其他に就て、水野甚次郎氏は國防問題に就て夫々質問する筈、又決算收支打合會も開會される

▲衆議院 午後一時から本會議を開き政府提出不穩文書等取締法案始め貴院より送附の法律案を上程委員附託とし又午前九時から赤字公債其他の委員會並に午前午後に亘つて各分科會がある

"對英關係の惡化はもとよりの覺悟"

伊政府から非公式に聲明す

【ローマ十二日發國通】イタリー政府は十二日理事會に於る代表部の引揚げを決定し國際政局に一大波紋を投じたが聯盟に對するイタリー政府今後の態度につき政府當局は十二日非公式に次の如く言明した

一、聯盟理事會の伊エ紛爭審議に對しては最大限の留保を附し事實上同審議をボイコツトする態度を以て臨む方針だ

一、イギリス政府が現在の如く聯盟國を率ゐて所謂エチオピア代表の幽靈的存在を許容し制裁强化を圖る以上英伊關係の惡化は免れぬ、外交關係の斷絕も保し難い

右情勢に鑑みイタリー政府はロンドン駐剳グランヂ公使に訓令を發しエチオピアを合併したイタリー帝國の成立を通告すると共にイタリー政府の斷乎たる決意を表明しイギリス政府の善處方を要望せしめた

伊國と聯盟の 正面衝突は不可避

【ジュネーヴ十二日發國通】聯盟理事會がエチオピア帝國合併不承認の決議案を採擇するに先立ちイタリー政府は斷乎代表部の引揚げを斷行したが、更に今後四十八時間以內に國際聯盟から脫退するか否かを決定すると見られる、即ち聯盟理事會は伊エ兩國の紛爭に關する實質的討議を六月十五日よりの特別會議迄持越したが理論上飽くまで不承認政策を堅持すると見られるからイタリー政府との正面衝突は殆んど避け難い形勢と解される、この情勢を前にイタリー政府は聯盟脫退を斷行するか乃至は少くとも聯盟との非協力政策を確立し、新帝國が承認せらるるまで聯盟外交の圈外に超然として獨自の國策を遂行するのではないかと豫想される

エ國駐在 英公使館閉鎖

【ロンドン十二日發國通】英國政府はイタリー軍のアヂスアベバ占領に伴ひエチオピア政府が消滅した事實に鑑み近くアヂスアベバ駐剳公使サー・シドニー・バードン氏を本國に召還し、一應公使館を閉鎖し新たに領事を任命駐在せしめるに決定したと確聞する

伊のエ國合併 英國に正式通告さる

【ロンドン十二日發國通】ロンドン駐剳イタリー大使ディノ・グランヂ氏は十二日午後英國外務省を訪問、法律顧問サー・ランスロット・オリファン氏と會見の上エチオピア國合併に關するイタリー政府の勅令寫しを手交した、英國外務省に於てはイーデン外相のロンドン歸任を待ち直ちに右通告內容の檢討に入る筈である

佛米政府に通達

【パリ十二日發國通】パリ駐剳イタリー大使ビトリオ・チエルッチ氏は十二日午後フランス外務省を訪問、エチオピア合併に關するイタリー政府の勅令寫しを通達した

【ワシントン十二日發國通】ワシントン駐剳イタリー大使アウグスト・ロッソ氏は十二日午後米國國務省を訪問、ハル國務長官と會見の上イタリー政府のエチオピア帝國を合併した旨を公式に通達した

胡氏死後の西南

南京の重壓加はらん

【南京十三日發國通】胡漢民氏の急逝は當地中央要人の間にも大衝動を與へ國民革命の恩人であり黨國の大元老としての胡氏の逝去を悼んで居るが生前西南文治派の巨頭として常に反蔣運動のリーダーとして活躍して來たゞけに胡氏無き後の南京、西南の關係が如何なる變化を見せるか深甚の注意を拂ふと共に政局の動向を注視してゐる、當地政界消息通の觀測を綜合するに胡氏は從來對中央抗爭の旗頭として活躍して來たもので最近も民族主義の高揚を名目に反蔣熱を煽つてゐた然し最近の胡氏は昔日の勢力もなく廣東の陳濟棠、廣西の李宗仁兩氏等も寧ろ胡氏を對中央策のロボットとして利用してゐたに過ぎず從つて胡氏の死が兩廣の實力に對して打擊を與へると考へられない然し氏は黨國の大元老として靑年の尊崇を集めて居たのであるから氏を西南の陣營から失ふ事は精神的に相當の打擊であるに相違ない、中央が胡氏に中央の政務委員會の椅子を與へ外遊からの歸國に當り寧ろ思切つた歡迎振りを以てこれを南京に迎へんとしたのもこの點にある、この西南側の精神的打擊を機會に蔣介石氏がその獨裁權確立の癌である西南へ壓迫を加へんとするは必定であり、今後の南京、西南關係は頓に緊迫を加へるであらう

平津學生等 又不穩策動

【天津十三日發國通】北平、天津兩市の大學生を中心として組織された學生聯盟會は最近又もその行動活潑となり排日貨運動を行ひつゝあり、殊に北平燕京大學內に國貨提唱會を設置してより益々惡化せんとしてゐる、彼等は本年夏期の計畫として夏期休暇を利用し宣傳班を組織して國貨提唱の愛國運動に名を藉り農村に排日デモを敢行せんとしてゐることが明白となつたが十二日午後六時半頃突如天津の大學生數十名は目下同地に於て開催中の日支共同主催の衛生展覽會場に暴れ込み場內の非常ベルを目茶苦茶に鳴らし火事と見せかけて觀覽客を追出し、遠く滿洲方面より出品せる參考品を場外に撒き出す等混亂狀態に陷れて退場した彼等は國民政府は勿論の事英米方面の或種の策謀に煽動され宋哲元氏の日支提携工作を破壞せんとして居り支那駐屯軍の擴大强化を機會に何かと妨害運動を爲さんとしてゐる模樣で駐屯軍では事態を重視して居り宋哲元氏も彈壓に努めてゐるが暴動化の兆さへあり頗る注目されて居る

馮氏談話は虛傳と

南京政府正式談話を發表

【上海十三日發國通】軍事委員會副委員長馮玉祥氏がデリー・ヘラルド紙南京特派員に對し日本に對する軍事的抵抗は不可避であると高言したに對し外交部當局は十二日午後該記事は全く事實と相違せる旨の正式談話を左の如く發表した

該報道に對しては外交部當局は深甚なる注意を拂ひ馮副委員長にその眞相を糺したところ馮氏は當時デリー・ヘラルド紙の特派員が勝手に若干の問題を提出しこれが回答を要求したるも自分は該問題に關する限り何等の回答をも與へなかつたとの事で、右報道は事實と相違する

谷公使任地出發

【東京國通】オーストリア國兼ハンガリー國駐剳公使谷正之氏は十二日午後九時三十分東京驛發赴任の途に上つた

華北密輸の基因は不當な高率關稅

支那側當局の邪推は迷惑

【天津十三日發國通】最近世界の注目を惹きつゝある北支に於る特殊貿易（密輸）は主として冀東沿岸經由で行はれて居るが右に對し英米は北支關稅收益の侵害を、國民政府は國庫收入の激減を理由に日本側當局に之が禁止方を要望して居る、海關推定によれば北支六港の密輸額は過去一年三ヶ月間に約三億元に達し昨年一月より三月に至る前記六港海關收入三千八百萬餘元に對し本年同期は二千五百萬元餘に激減し天津一港について見るに密輸品中の主要貨物たる砂糖の正當課稅輸入品は昨年同期十二萬八千餘擔に對し本年同期は僅かに一千二百餘擔となつてゐる、國民政府は此等の理由をもつて財政部員黃希超氏を北支に派して天津海關監督林世則氏等と現地調査の上對策を協議して居たが近く南京に歸還した上で現狀を報告する模樣である

右に對し最近日本側當局では特殊貿易は支那の內政問題で我方の關知する所にあらずとして居り支那側が不當なる排日的高率關稅を實施して居る事に起因して居ると見て此の稅率低減が實現すれば特殊貿易も自然消滅するものとみて居る、然し日本當局が右に對し關與せるが如き支那側の邪推に對しては頗る憤激的態度を示して居る

河北密輸取締り

中央軍を河南に配置

【上海十三日發國通】過日來南京政府では北支に於る密輸問題につき防止策として關稅引下げを行ふか徹底的取締を斷行するかに就て孔財政部長を中心に協議を重ねつゝあつたが、適切なる取締手段を講ずる事によつて防止し得るとの結論を得たので、取締斷行に乘出すことに決定した模樣で之が爲河南省境及び平漢津浦兩鐵道沿線に稅關員を增置したる上目下九江にある中央軍三個旅團を極秘裡に河南省に移駐せしめる事になつた、之については密輸取締の爲河北省に接近せしめる事は取締そのものよりもより重大なる事態發生の虞ありと政府部內にも相當反對意見も出たが中央軍を臨時稅警隊と名稱を改めて配置するものであるとの意見が有力に支持され中央軍の移駐となつたものである

"日ソ開戰說は噂に過ぎぬ"

秦大佐歸朝談

【敦賀國通】モスクワ在勤帝國大使館附武官から陸軍省新聞班長に轉補された秦彥三郎大佐は十三日朝六時半敦賀入港の歐亞連絡船サイベリア丸で歸朝、同九時二十分敦賀港發國際列車で上京したが同大佐は赤露駐在二ヶ年の感想に就き左の如く語つた

第二次五ヶ年計畫の完成を前にして最近のソヴイエトは國內的に著しい充實振りを見せ特にモスクワ等の主要都市の物資は非常に豐富となり押合ひで食料の配給を受けると言ふ光景は全く見られなくなつた、重工業はすつかり完成され今では更に一歩を進めて世界一たらんとしてをり輕工業も非常な發展振りである、問題のシベリア鐵道の復線工事も既にハバロフスクまで完成し今年中にはウラジオまで全通するものと思はれる日ソ開戰說も最近喧しく傳へられてゐるが事實ソヴイエトとしても決して戰爭を期待してゐるとは思はれない、首腦部は「日本人と喧嘩したら引つぱたかれても別れてしまへ」と訓令してゐるくらゐである日ソ兩國の開戰說は結局噂に過ぎない

尙ほ同船で日ソ交驩將校として航空兵中尉ジャーエフ氏外五名が來朝した

馬種改良增殖の爲

馬政局で種牡馬貸與

馬政局では馬の改良增殖を圖るため今後公共團體又は馬政局長の適當と認める者に對し國有種牡馬を無償で貸與することとなつた、國有種牡馬の貸與を受けやうとするものは每年七月末日まで申請書を馬政局長に差出し馬政局長は詮衡の上之に對し九月末日迄に貸與種牡馬、貸與期間、引渡の期日及び場所其他必要なる事項を通知する筈である

歐亞連絡ソ聯 鐵道時間改正

滿鐵は十五日から歐亞連絡旅客並に手荷物賃金の改正を行つたがソヴイエト鐵道は十五日から滿洲驛發着國際列車の時間を左の通り改正した

▲第一列車滿洲里發（月、木）十九時二十分▲第二列車滿洲里着（木、日）二十二時三十七分

因にこの時間は滿洲里時間である、なほ列車編成座席等は從前通りである

桑木第一部長

關東軍と重要打合せ

滿洲視察の爲來京した桑木參謀本部第一部長は十三日午前十時關東軍司令部を訪問、第二課第三課と連絡の後午後零時十分より植田軍司令官と會見、挨拶を述べ同一時より今村參謀副長と會見種々打合せ懇談を遂げた

午後六時半より軍司令官邸に於る植田軍司令官の招宴に臨む筈、尙十四日、十五日、兩日に於る同氏の日程左の如し

△十四日 午前九時より憲兵隊司令部訪問午後南嶺寬城子視察

△十五日 午前新京出發

に至つた

米支銀會談終了

【ワシントン十一日發國通】四月上旬以來月餘に亙つて續けられた米支銀會談は愈々完了若しくは最後の段階に達した模樣で米支間に少くとも或種の協定が成立したものと信ぜられる

鐵道協會視察團の日程

第一班の後をうけて鐵道協會主催視察團第二班百六十四名の一行は十三日午後五時五分湯崗子より臨時列車にて賑々しく着京した、一行は同夜市內ヤマト、新京、國都、中央、向陽、太陽、名古屋、都、滿蒙、大和新館の各ホテルに分宿したが、十四日の同視察團のスケジュールは次の通りである

午前九時 新京神社および忠靈塔參拜、それより觀察の都合上二班に分れるが各班の行程、觀察個所は

A班―午前九時二十五分國都建設局、同十時二十五分南嶺、同十一時三十分宮內府拜禮、同十二時歸館

B班―午前九時三十分宮內府拜禮、同九時五十五分

對滿移民は漸進主義で行く

―大移民計畫愈々具體化―

日本人移民計畫の大綱を決した現地各機關では目下實施に際しての具體的方法を硏究中であるが大體に於て漸進的方法をとり財政狀態其他を考慮して初年度二萬人程度を北滿の各地に移住せしめ一戶當りの耕地面積は水田二町歩、畑地八町歩、合計十町歩となす豫定で移民の宣傳募集は東京の滿洲移住協會をして行はしめ土地の買入、入植、指導、金融等は新設の滿洲拓殖會社が行ふこととなつてゐる、問題は補助金額の如何にあり注目されてゐるが從來の試驗移民が大體に於て二千圓程度であつたことより今回は二千五百圓乃至三千圓見當とみられてゐるが、一戶當り二千圓とするも百萬戶移住計畫には假令廿年繼續事業とはいへ數億の經費を要しこの經費を果して日本財政の現狀が許容し得るや否や移民問題の成否もこの一點にかかつてをりこの點を中心に日本當局との間に折衝が開始される筈であるが、馬場藏相の再三に亙る對滿國策の積極化の聲明に徵しても又陸軍中央部の抱懷する國防的見地よりする對滿移民の絕對的必要性等よりして順調に進捗するものと期待され多年の懸案たる滿洲移民問題解決に絕好の機會とみられる

佐々木滿鐵理事 廿日新京へ

【大連國通】滿鐵佐々木理事は十年度決算說明の爲市川經理部長と共に二十日午後九時大連發、途中奉天に下車新京に向ひ關東軍、同交通監督部等に說明終了後一應歸連月末頃大連發東上し中央關係當局に同樣說明認可申請を行ふ事となつた

井上會計檢査官 十六日來連

【大連國通】會計檢査院檢査官第三部長井上綾太郎氏は馬渡、奧平兩屬を從へて十六日來連、約十日間に亙り滿鐵の會計檢査を行ふ事となつた、尙鐵路總局の會計は原則として檢査を行はず、參考として口頭說明に止める事になつた

人事往來

▲山內電々總裁 十三日午後歸京奉天より
▲筑紫參議 同
▲岡本中佐（軍司令部） 同ハルビンへ

航空往來

▲安達豐氏（官吏） 十三日午後ハルビンへ
▲八島憲二氏（會社員） 同
▲森峻一氏（會社員） 同
▲金丸末義氏（同） 同
▲稻葉幸太郎氏（鐵工業） 同午前奉天へ
▲山內克貞氏（會社員） 同午前ハルビンより
▲藤岡一正氏 同午後チチハルより
▲太田太氏（會社員） 同奉天より
▲高不二郎氏（鐵道協會員） 同
▲南角長英氏（航空兵中佐） 同
同
▲田原弘氏（航空兵少佐） 同
▲竹村清氏（鐵道協會員） 同

社説

南方の生命線について
委任統治諸島への一觀察

一

米國の著名な一人の外交評論家は、日本ヶ聞けば太平洋の西北に散在する島嶼であると思ひ勝ちであるが、事實はシベリア近くの雪の中から、赤道にまで亘つてゐることを一種のおどろきをもつて記してゐる。この帝國と、およびそれと不可分關係にある滿洲帝國全部を旅行せずしては、この事情を知ることは困難であると彼が言ふのは全く正しい。それとともに、われらとしても、日本本土を過ぎ、琉球、臺灣を經て、マリアナ、ヤツプ等の南洋群島に達する範域に新しい觀察の眼を投ずる必要があるであらう。赤道直下珊瑚礁の間にブロンズ色の土人が獨木舟を操つてゐるところにまで、日本の南方の生命線は續いてゐるのである。

二

東洋は高潮してゐるとは、すでにして世界の認識するところとなつてゐる。このとき「全極東は一心一體となつであらう、日本はそれを實現せしむることを使命とする」といふ一哲人政治家の言葉は、さきの評論家によつても聯想されてゐる。マリアナ、カロリン、マーシヤル諸島に對するいはゆる委任統治をかれらは一應問題とすることを忘れない。無力な國際聯盟が、委任權は同時に奪回權を含むものであるとはしなかつたことをも認めつつである。思ふに委任統治の制度は、聯盟規約第二十二條によれば、近世々界の激甚なる生存競爭狀態の下に未だ自立し得ざる人民の居住するものに對して適用されたものであつた。今日、南洋諸島にはげしい勢ひをもつて日本人居住者が增加しつゝある事實は、當時聯盟の豫想の外にあつた發展的事態であらう。ヒットラー氏は賢明にドイツ人のゐない島の奪還に一兵をも殺すことは欲しないと言つてゐる。

三

日本が南洋諸島原住種族のために行ひ來つた文化向上のための努力を正しく評價することを見逃してはならぬ。この場合、敎育はよき社會人をつくるために、より有力な生産者たらしめるためになされたと信ぜられる。かれらはその日常生活にふさはしい理智的な敎育をほどこされ來つた。コ、アの實についての算術が勉强された。自分たちの島についての地理が勉强された。珊瑚礁や藪地の自然科學が敎へられた。學校の菜園で農業を敎へられ、女の子は料理、裁縫、育兒、衞生等について敎へられた。これらの事情は滿洲におけるおくれたる民族に對する場合にも充分參考となるであらう。われらはこの北方に建設の大事にいそしみつつ、しかも南方への情熱的な關心を固持するものである。

民間の對支經濟工作
漸く積極化す
製鹽、棉花、製鐵等
北支資源開發に主力傾注

【東京國通】我對支經濟工作に就ては内閣の標榜せる大陸政策强化方針に呼應し最近民間に於ても對支工作機關興中公司を中心に年初成立の日華貿易協會その他と共に漸く具體的活動に入らんとしつゝある、即ち興中公司では本月初め天津、上海、廣東、大阪各地支店長を東京に招集數日に亘り今後の具體的方針を協議した結果當面の北支資源開發に主力を傾注し既に滿鐵、支那駐屯軍等で略々調査研究を終へた製鹽、棉花、製鐵事業を急速に具體化すべく日支兩國政府並に財界方面と連絡を執りつゝ立案に着手してをり製鹽に就ては冀東鹽田區域を主とし年五十萬噸生産を目標とする日華合併の華北鹽業公司設立計畫を樹て目下日本鹽業、昭和肥料其他日本側關係者の參加を斡旋しつゝある

退職積立金法案を繞り
勞資の意見對立か
全産聯十四日緊急會開催

【東京國通】二・二六事件後の陰惡な政情に刺戟されて資本家側も從來の强硬反對の態度から一轉して贊成の態度に出たゝめ今議會に提出されるに至つた退職積立金法案は全産聯の豫期せるものと内容を異にするといふ理由で再び資本家側に反對空氣を釀成し社會局、資本家、勞働者の三巴の論戰が議場に展開される事と豫想されるが全産聯では十二日も丸之内工業倶樂部に關東産聯緊急常務委員會及び臨時會員總會を開催、赤松社會局勞働課長より新政府案の說明を聽取後問題の八、十六、三十、四十三の各條に就き檢討した結果、根本的修正を要求する事に決定、十四日改めて全産聯緊急委員會を開いて對策を協議する事とし散會した

守舊の殼を脫し
革新へ踏出す
▽……議會に現れた新機運

【東京國通】議會の會期も後一旬を殘すのみとなつた、法案の審議より之を見れば大體に於て好成績を收めたと見るべく、既に十二日貴族院が貴族院改革建議案を可決して從來守舊を事とする如く見られて居た貴族院より革新時代の狼火が上げられた事は一般に多大の感動を與へた、又十二日の衆議院の豫算總會では龜井貫一郎君の統制經濟論に對

議會ニュース

上左、永野海相の答辯右、無産黨の麻生久君の質問
下、政友會大口喜六君の質問（豫算總會）にて

丁香廬漫筆（百四）
音樂と西洋菓子（一）

日本のファッショの親玉古い檢事出身と聞いた丈けでも樞密顧問官平沼氏に對し何となく冷たい無風流さを思はせるのであつたが、先頃樞府議長に就任後西下の汽車中にて盛んに音樂談をやり音樂は奬勵せねばならぬとの談話を新聞紙上にて讀み聊か意外の感に打たれざるを得なかつた。

×

樞府議長の宿望を達したので急に自重し出したのか、それとも二・二六事件の戰慄すべき光景を眼前に見てハッショ的の考は棄てたのか、其邊の處は明瞭で無いが兎に角自今日本國内に漲る人心の不安險惡を除くには矢張音樂が宜敷い位の御意見ならずやと忖度し此は少々面白いと思ふて居るのである、世相險惡と一口に云つて了へばそれ迄だが事の玆に至るまでには種々な原因があらう、經濟的に國民生活が安定せぬといふのも一原因だらうが滿洲事變上海事變以來事實上戰時情態が繼續してるやうなもので殆んど毎日の如く戰死負傷があり稔き遺骨白衣の勇士として後送され又目出度く凱旋する將兵なども駐滿中の討匪行で殺伐の氣を帶びて居りさらでだに一人一殺其他のテロ行爲流行の內地であるから知らずくの內に此等が相寄り相結んで極めて險惡不安の空氣が釀成さるるのでは無いかと思ふ。

×

いづれにしても斯かゝる殺伐險惡な陰慘な空氣を除く爲めの一方法として音樂を奬勵することは相當效果を期待してよいと思ふ。船乘は氣が荒いといふ、殊に女氣一つ無い軍艦生活が永く續くとそう云ふ傾向が益甚しくなるそれで海軍軍樂隊が必要といふことになる、同じ意味で今の日本にも管樂が必要で無いか、恐らくは軍樂隊の海軍に於けるよりも更らに必要であり急務であるかも知れぬ、確かに爲政家の一考に價する問題である

×

信長が統一の大業に着手する迄の日本は下剋上と殺戮との無政府狀態であつたが信長は武力討伐の一面茶の湯などを奬勵して可成く殺伐の風を除かうとした、信長を大英雄として心中崇拜し務めて其經綸を踏襲した秀吉の炯眼も亦此の的を外れなかつた、で茶道は益隆盛に赴き遂に極致に達した。由來日本民族は尙武の國民ではあるが其半面には相當の風流心を藏してる、啓發奬勵次第では相當效果を收め得るであらう。去年櫻井忠溫少將の北滿紀行で牡丹江驛であつたか駐屯部隊長の友人某將軍を訪問すると非常に喜ばれて遠來の客をもてなすべき何の風情も無いが、せめて秘藏の香でも焚いて御馳走しやうかと云つて陣中香を焚きながら閑談したとの記事を讀んで、床かしい心掛けだと感心したことがある、既に斯う云ふ將軍が居るのであるから、此にふさはしい士卒も相當居る筈だ。

海運界の癌
密輸の撲滅運動
愈よ開始に決定

【東京國通】各航路に於ける密輸は最近に至るも終熄する模樣がないので十二日海運界の勞資共同機關たる海事共同委員會定例會では密輸は單に我船員の信用を低めるに止まらず船主の負擔を增加し我海運界の海外進出を阻止するものとして愈々密輸撲滅運動を開始する事に決定十三日日本船主協會、海員組合海員協會の名を以て内務省並に外務省に陳情、内外に於ける密輸品の買手取締を要請する一方船主に於ても船內搜査を行ひ船舶の港內碇泊中は監視を嚴にして密輸發見者に對しては賞與金を贈る外社會大衆黨より適當の時期に於て議會に提案する事になつた

石炭需要增に鑑み
愈よ增送に決定
卅萬乃至五十萬噸

【東京國通】最近各種工業生産の旺盛に伴ふ石炭需要の增大、需要者側の値下げ要望並に三月末全國の貯炭高の激減は石炭聯合會及び昭和石炭をして遂に增送の決意を爲さしめるに至つた、而して增送の額は五月末決定される筈で大體卅萬噸以上五十萬噸以下と見られてゐる

山西の沒落と
共産軍の侵入
夢の如き閻錫山の廿五年
天津　大熊特派員

（上）

赤化か中央化か共產軍の侵入以來一大衝動を受けてゐた山西省がこの重大岐路に如何に善處して行くか齊しく內外の關心を集めてゐたが、遂に來るべき日は案外早く來て了つた、それは云ふまでもなく本月六日附を以て中央に打電した閻錫山氏の辭職願ひに依つてゞあつた、勿論中央は形式的の慰留をするであらうが蔣介石氏の肚の底は「待つてゐました」と來るに違ひないした。

顧みれば閻錫山氏には夢の如き廿五年であつたらう

×

軍閥華かなりし頃山東、河南の地に反蔣の旗を揭げ利あらずして山西に閉籠り專ら山西理想鄕の建設に邁進して來た彼だつた、しかして閻氏の封建的經濟政策と蔣氏の獨裁的新經濟政策との相剋の時代が來たのである、が新銳武器を背景とする中央勢力の北上には山西の敵する能はざるところであつた、斯くてその結果は閻錫山氏と共に山西省沒落の日が來たのである、遠からずしてこの日の到來することを約束づけられてゐたにせよ共產軍の山西侵入により拍車づけられ中央軍八ヶ師の入晉以來約二ヶ月と言ふ短期間に完成してしまつた、これあるが爲めかどうか解らぬが、山西共產軍の主力は再び陝西に歸還しつゝある、山西軍も中央軍も共產軍討伐の成功なりとしてゐるが、ここに蔣介石氏の對北支政策の「カラクリ」が伏在してゐることは明かである、之が考察を入晉以來の共產軍の動向に求むれば自から明白とならう、新聞報道の重復を避けて以下紅軍の現狀を記述しやう

×

二月の二十七日陝北に蟠居してゐた共產軍は黃河を渡河して潮の如く山西に雪崩込み直ちに山西省西南三十數縣を占領してしまつた、その後も行動頗る活潑にして路を三路に分ち第一隊は三交鎮、柳林鎮、離石、汾陽、文水交城のコースを取り太原を混亂狀態に陷れ、古交鎮、嵐縣、保德にまで北上、ここで劉子丹の指揮する共產軍及び政治工作員千五百名と合流して黃河に沿つて再び南下し石樓を中心とする三角地帶に入つた、第二隊は中陽、孝義を經て双池に出で更に汾河を渡つて靈石に進み同蒲線を破壞、これを完全に遮斷して南進、洪洞を占領して安澤、沁源方面に出で各地に分散し、一部は同コースを引返し隰縣方面に集結した第三部隊は大寧、隰縣より進發し南部各縣を占領して臥汾を通過浮山、曲沃方面を占領して分匪となり一部は蒲縣方面に引揚げた、右の行動により山西の重要地點は一まず赤化の洗禮を受け一大脅威を與へられたのである、紅軍の山西侵入直後四月初頃より中央軍は援兵を理由に第一、二、四、六、八、十九、廿五、九五各師の八ヶ師を運城より入晉せしめたのである、此の外山西軍側よりは楊澄源、楊效歐、李生達、孫楚の各縱隊商震軍の第一四一、第一四二師中央を合せて總兵數約廿萬この大部隊を以て共產軍約三萬の攻擊に當つたのである

×

しかして共產軍約二萬は四月末頃より隰縣、大寧、汾西方面に集結し目下陝北に歸還しつゝある、この地帶を俗に三角地帶と呼んでゐるが、山西軍はこの地帶に於て紅軍を潰滅すべく四月初め頃より堡線（望樓）を構築し五月二日を期し望樓完成と共に總攻擊に移つたのである

讀者の領分

バス無賃乘客へ希望す

新京バス會社でも、內地の交通諸機關と同樣に、日滿兩國の憲兵警察署員其他治安と直接間接に關係ある人々に、無賃乘車の待遇を與へて居る樣だが、之は當然として、さて此連中にも毎日ラッシュアワーに乘り降りする者が少くない、此時間には婦人も小學生も相當に混つて居り、目白押し壽司詰め文字通りの超滿員大混雜であるのに、先に席を占めた其等諸公は是等のか弱い者に席を讓るでもなく晏閑として知らぬ顏の半兵衞を極め込んで居る、こんな混雜時には職務の性質上から見て、假りに一般人と同樣に料金を拂つて居るとしても、悠々席に腰を下して居るべき筋合のものでないと思はれる、一般人就中滿人乘客等に對して席を讓つたと假定して見やう、彼等をして敬意と信服の念を高からしめる事と信ずる、如上の態度は或は全般でないかも知れないが、吾輩は毎日ラッシュに通勤して居るも不幸にして未だ嘗て一度も其敬服すべきシーンを見た事がない各路線の內で、南嶺線は最長コースであり半時間に一回しか運轉せぬので特に其混雜が甚しい、上司並に諸公の御一考を煩はす次第である。（一市民）

投稿歡迎　匿名不可

商況欄
（五月十三日後場）

金銀市況

●上海標金　前引 [illegible]　後寄 [illegible]　歩 [illegible]
●大連金鈔票　寄付 [illegible]　引 [illegible]　高 [illegible]　安 [illegible]　出來高 [illegible]　五月二十八日限 六月十三日限　歩 [illegible]
●大連鈔票銀大洋　現物 不申
高 [illegible]　安 [illegible]　出來高 不申

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向　第一回賣買 [illegible]
▲倫敦向　第一回賣買 [illegible]
▲紐育向　第一回賣買 [illegible]
▲大連爲替
▲上海向 一〇五、五〇
▲臺灣向 不申

株式相場

▲大連株式（短期）
五品　豆新　鈔新　東鐵　滿鐵　二新　日產　鐘新 [values illegible]

▲奉天株式（短期）
滿取　東新　大新　日產　滿新　五品　豆新　滿鐵　二新　同乙　東拓　滿電　滿興　滿毛　鐘先　日發 [values illegible]

各地商品市況

▲橫濱生糸　前場寄　後場寄 [illegible]
現物 [illegible]　當限 [illegible]　先限 [illegible]
▲大連麻袋　現物 三八錢　五月限 [illegible]

各地特產市況

●大連大豆　寄付　引
●同豆粕
●哈爾濱大豆
●同小麥
●神戶豆粕
●同高粱 [values illegible]

新京取引所市況
（五月十三日後場）

現物（一石値段）　寄　引　出來高
小豆 [illegible]　高粱 [illegible]　玉蜀黍 [illegible]　定期（混合百斤値段）　大豆 [illegible]　高粱 [illegible]

手形交換高（十三日）

金票 [illegible]　鈔票 [illegible]　匯幣 [illegible]

鮮魚小賣相場（十三日）

品名　最高　最低 [values illegible]

都市計畫の諸問題（二）
遺憾の點多しとする 技術法規の跛行
―市場移轉問題の紛糾―

元來都市計畫區域が決定した以上は、それは勿論直ちに行政區域の變更ではないにしても、その區域内に對して一定の拘束力を發生し、住民の權利義務の上に新たなる變化を來すべきことが原則である すなはち當然に建築物の制限が行けれ、土地區劃整理が實施せられ、特別税の負擔が加はる等々、都市計畫の實施遂行上必要とせらるる技術的財政的の拘束と負擔が發生するのが當然であるが、大連都市計畫區域においては、これに適用すべき關係法規が、いまだ何等制定公布を見てゐないので、區域の決定そのものが必然的には何等の拘束力をも生じ得ない狀態にある。

その後本年に入つて、區域に次いで決定すべき街路網がすでに關係當局において十分なる調査研究が遂げられ、立案決定に近づき、さらに道路網に引續いて決定を要する、そうして道路網計畫と不可分の關係にある、地域制の調査立案も頗る進捗せる模樣であるが、都市計畫關係法規の制定は依然として遷延中の儘である。

×　×

かくのごとき關東州内の都市計畫が技術的進捗と、法規的效力の跛行狀態に委せられつゝある間に、突然起つて來たのが、公設市場の移轉改築に關する敷地問題の紛糾である。これはひとり大連都市計畫だけの問題たるに止らず、新らしく生れ出る滿洲國の都市計畫法で規律さるべき、全滿各都邑の都市構築、都市經營上往々にして遭遇することあるべき問題であつて、この問題の今後の動向と、その解決の方法如何は參考に資すべき多くのものがあると思ふ。

問題の内容は、公設市場としてすでに三十年の歷史を有し、大連市民大衆の消費經濟の合理化と、百余店舖小賣商人の經營の合理化に貢獻し、かねて大連市の繁榮に寄與して來た信濃町小賣市場が、大連驛の改築に伴ふて移轉を要請せらるるに至り、市當局と市場商人組合の間に折衝が行はれた結果、連鎖街前電車道路に添ふた、バス發車場隣接地の一角ならば、電車、バス、道路その他交通上便利な地點であるから、現在の市場の繁榮を減損せしめる恐れはなからうとの建前で、市場側ではこの敷地に移轉すべき意圖を決定するに至つたのである。

×　×

すなはち市場側ではこの原案をもつて、市當局の諒解と支持を得つゝ、大連民政署及び關東州廳當局に交渉を試みたところ、意外にも民政署並びに州廳當局において、右の敷地に對する編輯は、絕對に反對であつて許可しがたいとの態度をとるに至つた。こうしてその理由とするところは直接電車道路に面し、かつ雜閙し易いところであるから、交通整理上支障があり、その上市場の建設は、建築物として町の美觀を毀けるから將來の都市計畫の建前上許可することが出來ぬといふのである

こゝにおいて市場側では、市場商人の死活にかかる重大問題として、種々對策を協議するところがあつたが、結局初志を貫徹するの外に途なしといふことになつた。（水口生）

趙慶吉匪討伐戰と 渡邊伍長の大奮戰
隊長の急を救ひ彈をうち盡す

五月四日鳳城縣西窑溝附近に於て東部三角地帶の元兇趙慶吉軍を完全に包圍し之を潰滅せしめたことは既報の通りであるが、この戰鬪は岡〇〇隊を中心に滿洲國並に滿洲側〇〇班の完全なる連絡の下に行はれたもので討伐效果から云つて、又日滿軍の連絡から云つて最近に於ける最も效果のあつた戰鬪と云ふことが出來る、而もこの效果を擧げるに至つた原因には渡邊憲兵伍長の決死的な奮鬪ぶりがあづかつて大いに力となつてゐるものだ、岡〇〇隊本部より公表された渡邊伍長の奮戰記は次の如くである

×

渡邊信盈憲兵伍長は安東憲兵分隊附にして四月十九日より久保勝文憲兵上等兵と

共に 岡〇〇隊に配屬せられ討匪行動に從事せしが、五月四日午前八時四十分西窑溝附近（大營子西方四粁）山中に趙慶吉匪約四十名蟠居中なりとの情報を得、午前十時卅分大營子に在る岡〇〇隊本部五名及び滿軍三十名と共に雀躍して出發し大營子西南方四粁趙家堡子―王家堡子を經て鹿圏溝に前進したるが、午前十一時三十分突如北方に銃聲を聞きたるを以て直ちに四二八高地を占領しこの日伍長は初陣の本戰鬪に功名をたてんとて騎銃を肩に欣然出動しゐたるを以て連射猛擊を敵匪に浴せかけたり、これが爲め敵は北方火石嶺子方面に潰走せんとする徵あるを見直ちに敵匪の退路を遮斷すべく前記部隊と共に西窑溝葦沙河を經て北方火石嶺子に進出せんとしたり然るに

途中 葦沙河に於て敵匪は依然前高地に在りて頑强に抵抗しつゝありとの報を得北進を中止し直ちに西方後銃溝の裏山に進出す、此處に於て交戰三十分に及びたるも地形有利ならざるを以て二隊に分れ攻擊前進を決し滿軍連長以下〇〇名を正面高地より攻擊せしめ大崎中尉と共に滿軍兵一、本橋一等兵の二名を率る僅かに四名にて敵匪の最左翼を包圍すべく南方より險崖を攀ぢて左翼高地に進出す、敵は至近距離より猛射を續くるを以て流石の伍長も前進するを得ず、漸くじて敵の前方にある高地を占領し敵前僅かに二十米に接近し殺氣兩軍に漲る、此時敵匪十二、三名は我北方部隊の追擊に依り伍長の前方にある高地の岩石を利用遮蔽して極力應戰せり此の時敵匪中に婦人（趙慶吉の妻なりしこと後に判明す）あるを

發見 し好目標と思ひて之が狙擊を試みたるも後方友軍部隊よりする射擊の爲、頭を出す事を得ず切齒扼腕、日章旗を振りて伍長等の所在を示せるも效なく、敵彈及友軍の射彈雨霰の如く集中し一歩も前進するを得ず稜線下に身を潛むるの已むなきに至る、敵匪は是幸と退路を得たりと思ひてか一擧に伍長等の位置に崩れ來りたるを以て伍長は單身にて追跡せんとするや、其後方より又も二名の匪賊稜線に現れ隊長大崎中尉以下三名に向ひ狙擊せんとするを發見し、逃走匪の追擊を中止し該匪を狙擊せしに見事一名を射殺するを得大崎中尉以下の危急を救ふを得たり、殘る一名は伍長の前方に逃げ來るを以て射擊せんとせしに、彈藥盒は空なり、こゝに於て伍長は猛然陣地を跳び出でゝ騎銃を逆手に

該匪 を追跡、追ひつくや全身の勢を奮ひ匪賊の背に一擊を下して之を斃したり、之に殘匪全員を斃し各部隊匪賊の陣地に突進し、戰場を掃除し累々として横はれる敵屍を點檢し武器を押收す、遺棄せる死體は實に十八、逃走せる匪賊十五、六も殆ど全部負傷せるは目擊せるところにして山上は文字の如く鮮血に染りて壯快謂はん方なきと共に一種凄愴の氣全山を蔽ふを覺えたり、時に午後五時半朝より何も喰はずに腹ぺコ々々身體は疲勞し切つて居れ共、戰鬪の興奮に山を下り戰友等と谷地に相集ひて顏を見はせたるときは萬感胸に迫りたりと、因に趙慶吉匪は閻生堂と共に三角地帶の最大匪首にして兩回に亘り鳳城縣の自動車を襲擊し西山指導官等を殺し良民を逆殺し或は家を燒き人質を取り暴逆飽なき兇匪なりしが本戰鬪に依り潰滅的大打擊を被りたり、恐らく再起は不可能なるべし

▽北滿第一戰へ！勇躍出發する東京第〇〇團

赤色パルチザン組織 滿洲國を攪亂
ソ領興凱湖地方の怪情報

ハルビンからの情報によれば極東ソ領興凱湖地方ドウォリヤンカ村落に客月一日中國人を主體とする約二十名の赤色パルチザン隊が組織され滿洲國内の治安攪亂を目的として計畫が進められつゝある模樣であるが、軍器その他必要品は總てゲ・ペ・ウから供給されつゝあり近く密山、虎林方面から入滿して濱綏線附近に集合し同線の破壞について匪賊と連絡をとつてゐると言はれてゐる

人事相談係
四月中取扱件數三十件

【吉林支局】當地總領事館警察署に設けられた人事相談係は店開き以來非常な繁昌を示して居り、去る四月中の取扱件數は約三十件即ち平均一日一件の割合になつて居るが、其多くは土建業者勞働者間の賃金不拂に絡まる問題で、中には春にふさわしい色つぽいものも數件に上ぼつてゐると

蒙地整理期し
土地制度調査委員會
特異性を重んじ愼重研究

蒙古人は蒙地の使用收益權を他民族に與へずとの封建的思想に基き土地所有に關しては極端に排他的であつたが建國と同時に滿洲國は單一國家としての型體を備へるに至つたので斯る封建制度の殘存部分は可及的速かなる整理の要を痛感し地籍整理局官制改正と同時に土地制度調査委員會を設け之が着手に取掛つた、現在蒙地と稱するは蒙古民族の領有地を意味し之を未開放蒙地及開放蒙地とに分け開放蒙地を更に正式開放地、非公式開放地に區別し開放未開放は土地使用及收益權に關する區分で正式開放は主權者の許可を經、正式の手續によるもの非公式開放は正式の手續によらず蒙古人民と漢滿人との間に私契約を結び實際上の權利關係を移すものである、興安四省は未開放地、奉天省及吉林省西側地帶は正式開放地、錦州、熱河兩省北側地帶は非公式開放地となつてゐる蒙地處理の問題は既に時期と方法如何によるものと見られ之に付き蒙地の特異性を研究し舊慣習をも尊重して土地制度調査會は之が審議に當つてゐるが目下同調査會の天海、杉本、龜淵の三委員及蒙政部並地籍整理局より各一名が約四十日間の豫定で現地の調査を行ひつゝありその報告を俟つて大體本年八月頃開催の土地調査委員會の本會議に懸け尚政府關係の審議を經て逐次具體的整理に着手することゝなつた

電業統制に
遼陽公司語る

滿洲における電業の統制上撫順大發電所設置計劃について遼陽電燈公司側では次の通り語つた

滿洲における電業會社は電業直系と傍系の電燈公司とに別れ電業は十九、傍系公司は六十九の營業所を有してゐる、電業統制上から見ても將來傍系を買收し統一すべき必要あり差當り本年は撫順、鐵嶺その他は合して八、九個所位を買せんとその工作に着手される情勢にあり遼陽公司も將來は買收されるもので、これが買收完了の曉には撫順に大發電所を設け新京大連間に一齊に送することに成らう

—これから危ない— 食べもの、中毒

とくに蛋白質腐敗には注意が肝要です

春から夏へ

氣候が夏に向ふにしたがつておひく食物の間違ひの問題が起きてくる。この食物で起る危險はどういふ場合であるかといへば大體五つ六つあるがしかし一番多いのは食物の腐敗から起るものである。蛋白質は吾々の身體になくてならぬ榮養素中の重要な一つであるが同時に細菌作用或は酸素の作用で分解すると逆に吾々の身體に對して猛毒を生ずる物質に變化する。これがプトマインで、不思議なことにこれは動物性の蛋白がこはれたときに多く出來る、したがつて動物性の食品に對しては毒素の發生に非常な注意が必要である。特にそれも肉、卵、乳の類に對して強い關心を持たなければならない、しかしそれも原料のときには色だとかにほひ、手ざはりといふことで大體腐つてゐるかどうか

鑑別　出來る、けれど既に料理された卵燒、オムレツなどになつた場合では原料が腐つてゐたかどうか分らない、もう一つは牛乳の場合で新鮮か古いかの鑑別が家庭には行はれてゐない。うんと古い牛乳、腐つた牛乳は豆腐のやうにかたまるが腐りかけた初期の牛乳は鑑別が困難である。しかしこれにはかうすると確實に分る、まづコップと盃を一個づゝ用意し盃に水を一杯入れこれをコップにあけ、次に純粹のアルコールを盃に一杯入れてコップにあけさらに目的の牛乳を盃に一杯入れてコップにあけよくかき混ぜて見てもと通りの

乳濁　を呈してゐるものは比較的新らしいものであるが腐敗初期にあるものは豆腐のやうに小さなかたまりが底にたまつてくる、從つてこの牛乳は乳兒、虚弱者、病人には絶對にさけなければならぬ、ところがこゝに材料は新らしくても注意しなければならぬものがある。それは辨當であつてこれをつくるときは溫かい飯でないと入れない、これに對し動物性の魚などの煮たものを飯のわきに入れ、出來上つたものを山のやうにつみ上げる、すると辨當の中では肉や卵が飯の溫味と水分のため

適當　な腐敗條件が與へられてその結果腐敗を起すかゝる場合の中毒は多くは積み上げられたものゝまん中になつた辨當を食べたものが、多くかゝる、であるから團體の辨當をつくるときは飯でも菜でも悉くこれを冷してからつめる詰めたものは積み上げずなるべく廣い表面をもたせて保存することが必要である。次は主として子供に多い中毒の原因だが、これでは飲食物の體裁をつくるためいろ〳〵の色を使つたり、好味をつけるため香料を用ゐる、それから起る中毒である、今日食べたものに使はれてゐる主な著色料はタール性の

色素　もその中には相當毒性の強いものがある、たまたま色が薄く均一に行つてゐれば問題は起らないが溶け切らなかつたりすると中毒が起りやすい、であるから色のうすいものといふことを一般の食物に對しては選定の標準にして頂きたい、また匂ひの場合も同じで、香料は一般に人體に對して有害な場合が多い、たゞ、使用料が少いため實際にはさしたる危險がない程度である、ところが素人が使ふと色とちがつて適量がはつきり分らない、したがつて香料を家庭で使用するときは兎に角使ひすぎそのため思はぬ危險を來たすことが多い。しかしこれらの色

匂ひ　に對する有害無害の程度はちよつと素人の手につかぬものなので家庭で使用する場合は薄くすることを標準にする、これが第一である。

▲十四日は島根縣の官幣大社出雲大社の例祭日です。また滋賀縣の官幣中社御上神社でも今日例祭が行はれます。

▲渡邊華山が讒を受けて江戸の獄に投じられましたのが天保十年の五月十四日でした。

▲官幣社國幣社鄕社等の各神社の社格が始めて定められましたのは明治四年の同じ日であります。

▲我が陸軍で鎭臺の名が師團と改まつたのは明治二十一年のやはり五月十四日。

▲イギリスのジエンナーが種痘の實驗に成功した日が西暦一七九六年のこの日で、今日は百四十年目の種痘記念日であります。

脂肪物は却つて脂が減る

保健食に必要な智識

（テ）（ム）（プ）（ラ）

（一般に）日本人には淡白な味がすきで脂肪のとり方が少いきらひがありましたがこのごろでは、カラ揚げ、テンプラ、フライとこつた調理がさかんに家庭で行はれるやうになりましたが、この油類中には微量ではあるが、夾雜物として保健上大功なものがあり、さういふ油を使用する料理が一般的になつて來たのは非常に結構なことですが、揚げものゝ種類によつてはこれに

（轉嫁さ）れる油の量に變りがあり、また或る食品ではかへつて揚げた結果固有の脂肪が出て全體の含有量が減るといふこともあるから、揚げものをする場合にはさういふ點も注意する必要があるわけです。特に保健食を與へるときの調理や獻立を行ふ人は是非この關係を知つてほしいと思ひます。揚げた場合の變化を見ますと

（カラ揚）げが油の轉嫁が一番すくなく、フライがそれよりも多く約二倍強、テンプラはカラあげの約五倍強も油がつきます

そして面白い事には揚げる食物中の脂肪の含有量の少いものは大體揚げものに多くなつてゐるのは當然として脂肪をたくさん持つてゐる食品を揚げるとかへつて逆に減少してゐることです。例へばサケ、タラ、トビウヲ、ヒラメ、キクといつた

（脂肪の）含有量が〇・四％内外のものでは揚げたのちに平均三・八瓦の油がついてゐましたが、サバ、コアジなどの脂肪の含有量が一三・〇—一五・〇七瓦だけ減つてゐます。これは獸肉でも同樣の傾向があつて馬・兎、牛肉等二・二から三・三までの脂肪を含有するものをカラ揚げにはあげると食品固有の脂肪と揚げ油とが入れ變るため一層味をよくするのではないかと考へられます。揚げ油によいものを吟味する必要はこゝにあります。

お料理獻立

筍の鳥卷き

筍もいろいろのお料理法がございますがけふは鳥卷きを申上げませう

【材料】（五人前）
筍　小一本
鷄並切五十匁
鹽、醬油、砂糖、みりん少々宛
調味料、煮出汁
添へものに
さやゑん豆　三十匁
かんぴよう　少々

筍はまるごと茹でゝ短册切とし、鳥肉にメリケン粉をつけたものをシンにして卷き、かんぴやうで縛り煮出汁その他味をつけて煮ます、さやゑん豆は鹽茹でとして筍の煮汁につけ、二種を盛り合せ木の芽でも添へます

正しい眼鏡の知識と近視に就いて（二）

川田眼科醫院　川田靈道

どうしたら網膜の上で焦點を結ぶやうになるかと云へば一番よい方法は眼球の長さを少し縮めて丁度焦點の結ぶ處まで網膜を持つてくれば良しいのですが、之は不可能の事ですから、次善の方法として焦點をモウ少し後に延ばして丁度網膜に焦點を結ぶやうに光線の屈折を加減すると良しいのです。之が今用ひられてゐる近眼鏡の原理でありまして凹面レンズを用ひ光線を分散させて丁度網膜面で焦點を結ばせて物をハッキリ見やうとしてゐるのであります。此凹面レンズの度が其眼の近視の度に相當して參ります。

—◇—

近視は度が進むとよく申しますが、實際に於て近視は遠視亂視と異り度が進みます、然らば度の進む狀態はと申しますと、先ず七、八歳から近視が起るものと致しますと中等學校時代其年齡が一番進行致し易いものでありまして、廿五、六歳位までが危險區域とでも申しませうか、其年齡をすぎると進行は大體とまるものです。なかに惡性近視と云ひドン〳〵進むものも、ないではありませんが一般に少いものであります。統計でも近視眼者は二十歳で二四、八三％二十三歳で三一〇三％二十四歳で四四、八三％と示す通り此邊の年齡が一番多いのであります。

—◇—

近視とは前申し上げた樣なもので、現代に適應せる文明的の眼とも申せますが矢張正しい眼こそ望ましいものでありますから、成るべく近視にならぬ樣にいたさねばなりません、然らば此豫防は如何にするが之は豫防出來るものであらうかと申しますと、或程度は豫防が出來るものであり、色々と日常注意いたす事に依り其進行を幾分でも阻止いたさねばなりません、そうして其注意と申しますと主として近視眼を有する人の日常生活の改善と云ふ事になるのでありますが、二、三其注意を申し上げて見たいと思ひます。

—◇—

近視を有する者の日常注意致すべき事、又正視眼の人も注意して第一に近視の發生を防ぐ條件と致しましては

第一に近業から遠ざかる事でありますが、之も全然遠ざかる事は不可能でありますが故、時間の許す限り眼を近業から遠ざけ屋外、野外にて休養いたす事が必要であります。

第二には近視眼に眼球が伸び過ぎるのであり、其伸びる理由の一つとして眼球を作る壁の抵抗力の薄弱の爲、眼球內の壓力の爲に負けて伸びるとも云はれて居ります、之を丈夫にいたす爲には矢張身體を頑强にいたさねばなりません此意味から申しましても又前述の近業から遠ざかる爲にも戶外の運動は大いに奬勵いたし度いものと思ひます。

第三に近業を爲す場合に採光を充分にいたさねばなりきせん、近くで物を見る事が近視發生上の一理由であります故成る可く物を一定の距離に離して仕事をいたし度いと思ひます、大體に三十センチメートル、此位の距離であれば仕事をするに適當のものと思ひますが、此場合採光が十分でないと物がハッキリ見えませんから又眼を近くに寄せる樣になります。夜間でも晝でも採光を十分にして、三十センチメートル巨離で十分に仕事の出來る位の明さを保つやうに致さねばなりません。よく學生が一心に薄暗い處で机に向つてゐるのを見る事がありますが、之など家の人が十分注意してやらねばなりません。大體其光度を申しますと一米で電球三十ワット、二米で六十ワット位の處がよろしいと思ひます、あまり明る過ぎても亦良しくないのであります。

第四に不鮮明な印刷物小さな文字の本を避ける事

第五に姿勢を正しくして仕事をなす事、近視は眼球に鬱血す爲に起るとも云ふ人がありますぐらゐですから前第四、第五に注意を怠ると頭に鬱血し甚いて眼球にも鬱血いたします

第七は遺傳關係でありますが之は關係のある事は爭れない事實でありますが故、兩親のうち近視眼の人がある場合には其子に早くから氣をつけて近視の詑らぬ樣色々と注意せねばなりません。

けふの番組

（M・T・C・Y　新京放送局）十四日（木曜日）

※—朝—※
六・〇〇　建國體操
六・二〇　ラヂオ體操（東京）
六・四〇　中等滿洲語講座　講師　秩父固太郎（大連）
七・〇〇　中等日本語講座　講師　近藤喜助（奉天）
七・二〇　氣象通報　朝の音樂（大連）
引續き　經濟市況（大連）
八・三〇　早晨演奏（東京）
九・〇〇　料理獻立
九・二〇　經濟市況（大連）
九・四〇　家庭講座　女中さんへのお話　赤塚久子
一〇・二五　家庭メモ
一〇・三五　經濟市況（大連）
一〇・四〇　經濟市況（東京）
一〇・五九　時報（東京）
一一・四〇　ニュース（東京・引續き新京）

※—晝—※
〇・〇一　經濟市況（大連・引續き新京）
〇・二〇　晝の演藝（レコード）
一、流行歌　お七振袖　山中みゆき
二、春の夜に　東海林太郎
三、好いて好かれて　山中みゆき
四、義民宗吾の唄　東海林太郎
五、雪の別れ唄　喜代三　永岡志津子
〇・四〇　建國體操
一・〇〇　白天演藝　京韻大鼓　百山圖　唱　菱花　絃子　于茂林　二胡　遲松樵
一・二〇　ニュース（滿語）
一・三〇　先聖講義（奉天）　古聖之學說與王道之關係（四）　奉天省教育會長　陳國慶
一・五〇　下午演奏（大連）
二・〇〇　經濟市況（大連）　日用品値段（滿語）
二・五〇　經濟市況（東京）
三・〇〇　ニュース（東京）
三・二〇　夏場所大相撲實況「初日」（東京）—兩國國技館より中繼—
五・〇〇　備考　後三・三〇經濟市況（大連）の時間には中繼す—
五・〇〇　子供の時間　齊唱と獨唱　新京室町小學校兒童　ピアノ伴奏　筒井哲
一、齊唱　ひばり
二、獨唱（イ）つくし（ロ）金魚　二年男子三名　二年大谷邦夫
三、齊唱　夢　五年女子十一名
四、獨唱（イ）深山うぐひす（ロ）蝶々　五年柴田節子
五、獨唱（イ）月見草（ロ）咲いたよ咲いた　五年本田尚子
六、獨唱　リンゴのなげき　五年松本幸子
七、齊唱　鯉のぼり　五年女子十一名
五・二〇　コドモの新聞（東京）　村岡花子
五・二五　氣象通報・番組豫告

※—夜—※
六・〇〇　ニュース（東京）
六・二〇　今晩の番組・官廳公示
六・二五　政府公報（滿語）
六・三〇　講演（東京）　輕合金の進歩と航空機の發達　工學博士　田邊友次郎
七・〇〇　—哈爾濱アメリカン劇場より中繼—　管絃樂と歌謠曲　日本ビクター管絃樂團　小林千代子　德山璉　小唄勝太郎
八・三〇　時報・ニュース（東京）
引續き　ニュース
八・四五　ニュース・經濟市況　氣象通報・番組豫告（滿語）
九・〇〇　舊劇捉放曹　協和國劇社票友
一〇・〇〇　北滿の時間（哈爾濱）
一、講演「內部紛爭」トルファーノフ
二、レコード
三、ニュース

"勝太郎ヤーイ" 放送局でアンコール

今晩はハルビンから中繼

（後七時より）

……勝太郎さん
……德山璉さん
……小林千代子さん

陽春五月のヒット、人氣の頂上を征く"日本ビクター滿洲大演奏會"小唄勝太郎、德山璉、小林千代子等一行は十一、十二、十二日間に亙る本社後援演奏會を終へて吉林經由ハルビンに向つたが、ハルビンでは此の一行の演奏會を好機として今晩七時より會場たるハルビンアメリカン劇場より左記プログラムにより中繼放送することになつた、南から北へ—まことに華やかと言ふ言葉をそのまゝに唄と踊りの極彩色で滿洲を飾つた絢爛の一行遂にハルビンでとらまへた放送局のお手並みはアンコールの先導的役割において先づお手柄と拜すべきであらう

一、管絃樂　日本ビクター管絃樂團

二、花賣り娘　小林千代子
戀の花召しやせ、七色まぜて、差上げませうか
赤い花、女のこゝろ、あなたの胸に——
朝晩逢ひたい、涙の露で濡れた花を差上げませうか

三、戀知りそめて

四、若しも男であつたなら
一、若しも男に生れてゐたら銀の翼の飛行機で世界中を飛んで見たい身まゝ氣まゝに翼のばして　だけど妾は女ですもの　ほんに女はつまらない

五、僕は朗らか　德山璉
明け暮れ僕は朗らか　あゝ朗らかな朗らかな　僕のこゝろ　ワッハッハ　ワッハッハ　僕は朗らか　ワッハッハ　ワッハッハ

六、丹下左膳
今宵片割れ名殘りの月に　丹下左膳の影法師　花の江戸とは名のみの闇に　更けて血に泣く濡れ燕

七、さくら・さくら　德山璉
一、さくらが咲くと誰でも興奮する　さくらは紅い　紅いから興奮する　さくらを見ると　つい一杯ひつかけちやう　飲むから興奮する　なほ〳〵興奮する　さくら、さくら、日本の櫻　君は、變な、妙な、花だね

七、生命線ぶし

八、滿洲くらし　小野巡　小唄勝太郎
一、曠漠千里滿洲の野末の雲の亂れをば凝視て雄々し立姿　行き暮れて甲戀し　遠い灯がチラチラと

九、佐渡を想へば
ハアー佐渡をおもへばヨ　照る日も曇る　おけさ踊りに　つい夜が更けて

十、『お蝶夫人』
聞いた港の鴎の鐘
ある晴れた日　遠い海の彼方に　煙かたち　船がやがて見える　眞白い船は　港に入り　禮砲を打つ　御覽　あの人よ　だけれど　迎ひにや　いかな
—去らば愛し兒—
アア　玉よりも　いとしきわが兒　玉よりもなほ　淸きわが兒　なれがため我が命捨つるとも

十一、夜の酒場に　德山璉
遠き海越へ行く汝が　母に心のこされと　露おしからず
夜の酒場に聽く雨の　なぜにかくまで身には泌む　乾せども醉はぬ盃に　浮ぶは君がまぼろしか

十二、旅の人形師
サアサ御贔負人形師　面白可笑しが見立てぢやない　勸善懲惡まのあたり　聞いて極樂みて地獄　サテネ　サテネ　カラりと廻れば　ストン　トントロ世が變る

十三、百萬人の合唱
ララララ　タララ、タララ、タララ、タラララ　ララララ　タララ、タララ、タララ、タラララ　ララララ

十四、ザ・コンチネンタル　小林千代子
あゝ君よ　ああ君よ　二人して　ザ・コンチネンタル　踊りつつ　戀を語らん　夢の夢　ザ・コンチネンタル　君と僕　ラッキーモーニング　朗らかな　朝風だ

十五、夜の調べ
命かけて踊らん　はるかに胸に聽けば心は踊る樂し音　あはれ床しき歌の調べ　あゝ唄へや君よ永遠に唄へ　いざ懷かし君唄へ唄へ、唱へ

十六、あゝ永遠に　涙の渡り鳥

學藝

繪畫の使命と日本畫

横山大觀

繪畫と云ふものが、吾人の生活又ひいては人生に對してどのやうな效用を持つかといふ事に就て注意を喚起したい。此の根本義を得ることなくしては、如何に繪畫の表現技術を修得するも、結局に於て藝術の本道に到らず、僅かに其の末技に終始するの境遇を脫し得ぬ事に思ひ至らねばならぬ。

もと藝術は、それぞれの民族に於ける高き文化の所望であり、隨つて、東洋藝術は東洋民族の有する高遠な文化の精華結晶である事は云ふ迄もない。而して、此の高遠な文化の精華であり結晶である東洋の繪畫は、更に東洋の文化をより高き境地に導くべき高尚なる使命を有して居る。若しも、此の使命を自覺することなく、ただ徒らに技能の末梢にのみ心を用ふるならば、それは僅かに片々たる工匠たるに止まつて、遂に眞實の藝術家たるを得ない。

◇

繪畫の使命は觀る者の心を遠く畫裏の妙處に游ばしめてひいては天地の恩を理解し、又人倫の正、不正を辨じ、以て善美なる人格の完成を期するに在る、古來東洋に於ては上は天子より下は庶民に到るまで、藏幅の習があつて藝術を愛する所以のものは、名畫の妙處を看取して、德を磨き情を養つて、その人格を完成せんとするに外ならない。斯く藝術はその人格完成への對象となる故に、これを收藏しやうとするに當つては、自然高工の作、大人の筆を採れと云ふ標語が生れるに至つた事は、何等不思議とすべきではない。ここに於て私の思ふ事は、繪畫の道はもともと筆端の末技ではなくして歷史的には古今の道に通じ、民族的には民族の本然に基き、而して個性の胸憶から發するものであると云ふ事である。

◇

東洋畫の如く、旨深く意高き藝術は、他の技藝に於ける樣に、單純な修行では能くする事は出來ない。つまり志士仁人たるに要する根本精神を修めなければ、東洋畫の本然には到り得ないと云ふ事である。畫の格調の雅正なると否と、又筆蹟の高雅あると否とは、すべて、一片の志氣に懸つてゐる。而して志氣そのものは、傳へようとして傳へ難く、敎へやうとして敎へ難い。されば此の志氣は、雄偉たる先達と、純眞なる後進との間に一脈感應するものがあつて所謂不立文字として傳へる以外にはその方法がない。

◇

東洋畫と人格とは、極めて緊密なる關係を有し、隨つてこの相關係を考慮する事なくしては、東洋畫を語る事は東洋民族傳來の精神に還つて、國民的情操の陶冶、即ち國民の性を善ならしめ、意を正ならしめるために、第一に人格の涵養を主眼とするところの書道の根本義がなければならない。此要求のもとに、書技の習練をするにあたつて、先づ人間としての風骨を養ふ事に心しなければならぬ。藝術と民族性との緊切なる關係は、例へば香氣の花に於けるが如きで、梅花にして梅花を發し蘭花にして蘭花を發すると些かも異らない。又個性と作品とに於ても、その因緣は頗る自明であつて、例へば、石の音の石よりも、玉の音の玉よりするに等しい。それ故に先づ人を作らずして漫りに畫を作らせても決して優れたる藝術を生む所以のものではない藝術の表現と、人格との相關緊切なること、日本畫に在つて斯くの如きを知る者は、即ち龍虎の圖は天稟の英兒でなければ描き難く、古賢の像は哲人の懷なくしては寫し難く、花世の美は雅士に非らずして現はし難く、好友を喜ぶものに非らずしては毛の嬉々たる秋は成し難く、古學を慕ふものに非ずしては、烟浦の遠きは現はし難いと云ふ理念を辨へるであらう。

信心銘（二）

鹽谷壽石

「唯嫌揀擇」

風

曠野をヒョウ〱と
梢を鳴らせて過ぎる春の枯風は
愛するものを失つた
女の悲しみ
それには憐愍もない愛情もない
唯落漠とした魂
かぎりなく身を打ちつゞける事が
薄弱な意を慰してくれるのか
今日もやり場のない
投げ出しの心とを持つて
哀れな枯風が
あはたゞしく通り過ぎて行く
暗い一室で私は靜かに目をとぢた

五月五日

春

夢野玲子

過ぎた昔は返らぬが
又春がやつて來ると
思ひ出したやうに
芝生の綠が日に〱増して
來る
一つ〱の花が笑ひ始める
靑みがゝつた原にねころんで
滲む佗しさを心一ぱい
撒き散らし〱
私は
遠い夢の中で唄つてみた

五月一日

新書

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局研究部へ御送附相成度し（係）

△滿洲評論（五月九日號）時評三篇、貴志「滿蘇東部國境問題の展開」は日滿ソ關係の革鑿に對し更に徹底的な恒久策の確立を期待するもの、瀧本「中國憲法草案の根本修正」は特に過渡條款の意味を追求してゐて「今回の草案修正は中國憲法のなほ多難なる航路の一斷面として興味あり」としてゐる、矢口「滿獨通商協定の成立」は「獨逸としては曾つてフランス及びオランダ等に於いて獲得した商業政策の新道を今や東洋の市場に於いて漸次實現しつゝある所に意氣を見なければならない」としてゐる論文に中島良三「滿洲に於ける中農層の問題」小山貞知「凌陞事件と蒙古問題」がある、原幸夫の中支遊記は「金華と蘭溪」で南京政府の建設によつて拓けゆく浙江の奧を描いてゐる、はじめて出た靑木實の「滿洲的作品とは」と題した文壇時評は親切な解說である（大連市山縣通一八、滿洲評論社、十五錢）

△滿蒙知識（五月號）船木正司「黑龍江流域の林業」、佐々木生「本邦移植民の沿革概要」菊地武直夫「北支棉作に就て」荒基「第四次移民を送りて」中屋重業「肉彈挺進隊」等（東京市神田區三崎町二ノ三四滿蒙知識社、十五錢）

△經濟金融概況（康德三年二三月號）四六倍判一六四頁、各般に亘つての記錄を集めてゐる（滿洲中央銀行、調査課）

△在滿朝鮮人通信（第三號）「過去の憂鬱・慘澹は完全に解消」と題する在滿鮮人安全農村巡廻記、崔棟「鮮問題を通じて見たる滿蒙問題」崔秉協「半島文化の將來に就いて」等、谷萩少佐作の事實小說「同胞」は珍重すべきもの、萬寶山から來た少年と兵士を描き事變の一面を書いたものである（奉天彌生町四五、興安協會辦事處）

△昭和十一年版滿洲經濟圖表　滿洲經濟年々の動態を最も簡明且つ正確に表現せんとしたもの、人口、貿易、財政・物價、勞働賃銀、交通通信船舶・農業、工業、電力、鑛業その他に亘り一一八頁の解說づき圖表集成（大連市敷島町八二、大連商工會議所、五十錢）

△關西詩人（第四冊）日垣又信「河」宮崎讓「都會の子供達」安樂城壽朗「社長樣の仰言るに」島崎曙海「情熱」「鱗芽」上村猷夫「イタリーの子供達」「イタリーの空」等の詩作品、島崎曙海の隨筆「馬賊」ノート「大江滿雄氏を理解するために」等菊三六頁（大阪市西成區千本通四ノ一、關西詩人社、二十錢）

新ビウイクの光榮

英國に於けるゼ社自動車ビウイク、キヤデラクの代理店である倫敦のレングーマン・アンド・ハートマン會社の發表に依れば、最近同社では英國皇帝エドワード八世陛下の御乘車として一九三六年ビウイクお買上の御下命に接し、目下ゼ社加奈陀工場に於てこれが謹作中である、因に英國皇室に於かせられては、從來はダイムラー號を引續き御使用遊ばされ、エドワード七世ヂョーヂ五世兩陛下の御乘用車も皆ダイムラー號であつた關係上、今回のビウイク號御指定は英國自動車界に一大センセーションを捲き起して居ると

官場現形記（54）

李寶嘉作　大内隆雄譯

‖第五回の九‖

王夢梅は、この方面の消息を知ると直ぐに人を介して三荷包を招待し相當派手な御馳走をしたものである。ちやうどいい都合に三荷包の誕生日に當る日があつたので、彼はそれを名目に三四百兩の金をつかつて、へんな女のゐる家で芝居をやり、ぢやんぢやん酒をつけ一團の狐群狗黨をあつめて三荷包のための一日かかり切りのお祝ひをやつたその日、三荷包は大へん喜んでしまひ、これより王夢梅を一個の知己として遇するやうになつた。

その時、うまく前に玉山縣で勤めてゐたものが職を退くといふ事が起つた。玉山は江西でも著名な收入のいい所である。彼はそこで三荷包を訪ね、一萬圓を出すからその役所の方を世話して貰ひたいと頼み込んだのであつた。で三荷包はこの事を何藩台に說きに行つたのである。何藩台はそれに對して、彼はいま停職になつてゐる男である、いま例を破つて彼を用ひるのでは一萬圓ぢやまだ少いと言つたさうだな、あと二千圓出させろと附け加へた。王夢梅は又自分で三荷包に二千の銀票を送つた。三荷包は一方の手に票を受取り、言つたのである

「これはぼくが貰つていいのかな？」

さう言ひ終つた時には、票はもう彼の懷中にしまはれてゐた。

この王夢梅といふ男は、匯局を一度やつたことがあつたそれも途中でやめて局を全うしてはゐなかつた。今度職を買つたのについては、錢莊にゐる友人から三千借り、三人の手下から三千づつ出させたそしてかれらを將來何かに使つてやるといふことを約束した、自分であと四五千を集めたのであつた。この日、赴任のために挨拶に來たのだが、その仔細は判り切つた役人社會でのやり方であるから述べる必要もない。

王夢梅は上司の所を辭し、同輩に別れを告げ、家族や部下どもをつれて眞つ直に任地に向つた。そこに行くには一日では行けなかつた。玉山に着いた日に先づ紅諭といふものを出し、縣の書記を引見した。

王夢梅の考へでは、今がちやうど稅金取立ての時期である、一時一刻と雖もゆるがせにはすべきでないといふのであつた、で早速その日から取立てにかかる積りであつた。所が着いたのがもう遲い時間で、すでに灯點の頃となつてゐた。彼は豫定が狂つたのでいらいらせざるを得なかつたそこに年老りの男が來て言つたものである。

「もう今日は遲いですよ、まあ金を持つて來る者があつたところで、明日又來るやうに言つて下さい、日が暮れてからは取らないものです、明日は早朝から始めたらいいですよ」

王夢梅はこの言葉を聽いてやつと沈默した。だがその晩は碌々眠ることも出來なかつた。四更といふ時刻にはもう起き上つて、間違ひなしに取立てをやり出さうとした。人が揃ふと、彼は役所に出掛けた。太陽はもう垣を照してゐた。それから仕事が始まつたのである。（つゞく）

全滿防護團幹部集め 防護團講習會開催
劃一的實際訓練を目標とし 廿五日より軍人會館で

我等の空は 我等の手で

輓近科學兵器の進歩に伴ひ世界各國とも都市の防護施設については最大の關心をもつて充實を圖りつゝあるが滿洲に於ても"我等の空は、我等の手で"をモットーに新京を始め大連、鞍山、撫順、奉天、本溪湖、安東、吉林、哈爾濱、齊々哈爾等主要都市には防護團が結成され其他都市に於ても着々其の結成の準備が進められてゐるが滿洲防空協會では既設各防護團の劃一的實際訓練を行ふため廿五日から二十九日まで五日間新京日滿軍人會館に"防護團講習會"を開催し各部門に分ち專門的に講習を行ふことゝなつたが、この講習會には各防護團幹部、日滿警察官其他數百名が出席する豫定である

けふ八島校遠足

新京八島小學校の遠足は十四日午前八時全校生徒が校門を發足するが各學年の目的地は

一年生 杏花村
二年生 鐵道北水源地
三年生 南嶺
四年生 伊通河方面
五年生 淨月潭

戰鬪演技中の軍用機不時着
小川中尉死亡、鷹羽少尉重傷

【大連國通】去る十日大連附近海上に於て戰鬪演習中の飛行〇〇隊に屬する小川中尉操縱鷹羽少尉同乘の一機が海洋島附近に不時着した際鷹羽少尉は頭部に重傷を負つて救助されたが、小川中尉は行方不明となつたまゝ發見されず、遂に十三日海洋島附近に於て死體が發見され其詳報は同日左の如く發表された

小川中尉、鷹羽少尉兩名操縱の一機は海洋島附近に於る戰鬪演習に參加中發動機に故障を起し一時同島附近海上に不時着水したが强烈なる南風により波浪高きため同機は海中に沒するに至つた

これより先急報に接した同隊では兩名の救助に移る一方旅順要港部より驅逐艦「萩」が現場附近に急行、同時に大連水上署貔子窩警察署、滿洲國海邊警察隊よりも救援に急行捜査の結果、先づ負傷せる鷹羽少尉を救出、引續き捜査を續行したが小川中尉は遂に發見されず十三日午前八時半漸く同中尉の遺骸を發見滿洲國海邊警察隊海龍に收容、午後五時半大連西埠頭に到着した尙同中尉の遺骸は十三日夜茶毘に附し午後三時半より東本願寺で告別式擧行の上十六日出帆のうらる丸で內地に凱旋することゝなつた

寧林、林密沿線
經濟的發展の可能性あり
―鈴木總局監察附視察談―

【奉天國通】東部滿洲の動脈としてその活躍を期待されてゐる寧林、林密兩線沿線を視察、十三日歸任した總局鈴木監察附は語る

兩線一帶は內鮮人移民の入植地として着目され、既に數ヶ所の移民部落が建設されてゐる程であるが沿線一帶は地味肥沃で水利の便もよく附近の景色も內地と變らず位置もハルビンより南となつてゐる、滿道等數ヶ所には鷄西、炭鑛があり人間さへ居れば大いに經濟的に發展するところだといふ事を痛感した

河村派遣部隊長に 聖旨傳達

皇帝陛下には派遣部隊長河村中將に對し侍從武官を十五日午後五時四十分驛頭に派し聖旨を傳達あらせられる趣きである

◇……海軍記念日ポスター

警戒が過ぎて 行人を毆る

特別市建和胡同百十七號草場使用人ロシア人ニコライ・シユケビツチ（一九）は高砂町四丁目四番地材料置場の材料が盜難にかゝるので警戒中、十三日午前十時ごろ三不管居住陳叩任（一五）が附屬地に出るに材料置場を横斷しやうとしたのを見つけ制止したがきかなかつたので三尺餘の棍棒で陳の右耳を毆り輕傷を負はした

滿洲國攪亂 ソ聯魔手延ぶ

情報によればソ聯領內興凱湖岸ドウオリヤン村落に四月一日頃支那人を主體とする約廿名の赤色パルチザン隊が組織せられ滿洲國內治安の攪亂を目的に陰謀を企てつゝある模樣で、銃器等はすべてソ聯ゲ・ペ・ウより供給を受け、近く密山、虎林方面より密かに入滿して濱江省內に集合、濱綏線の破壞を企て附近匪賊と連絡をとりつゝ治安の攪亂を圖りつゝある

逃惑ふ楊匪團を 徹底的討伐

【奉天國通】四月上旬通化南方地區に於て匪首楊以下紅軍匪千名を擊破潰散せしめた滿洲國軍は同地區の肅淸に任ずると共に逃匪の情報蒐集中同月十二日遂にその逃跡を發見し部遊擊隊步兵第三團、騎兵第七團は協力通化、興京、桓仁、寬甸各縣下に亘り不眠不休の追擊戰を敢行、四月卅日午後夾拉子溝附近に於て該匪團主力を拉捉し之を包圍再び大打擊を加へたので匪團は再び數團に分れ山岳地帶を彷徨して居る狀態である、國軍の追擊は四月十二日より卅日迄實に九百四十キロに亘り一日の追擊行程は五十キロに上り、國軍の壯烈なる奮戰振りを物語つて居る

尙四月五日紅軍と戰端を開始して以來本日に至る迄敵匪に與へたる損害は斃匪一二四、負傷約一八〇に及んでゐる、又最近逃れたる人質の談に依れば前記夾拉子溝附近の戰鬪に於て楊匪團の首腦幹部二名戰死、二名重傷せる事確實で戰場附近の家屋內に收容家屋と共に燒却した、又楊匪首の負傷說も傳へられて居るが眞疑不明である

熱河省匪賊 大集團影を沒す

【承德國通】熱河省の匪賊狀況は昨秋に於る灤天林、劉振東匪の大討伐以來大集團は殆んど影を沒し、分散せる匪賊も漸次良民化しつゝあるが、警務廳の調査に依ると昨年末に於る匪賊の現出回數は前期に比し三十二回の增加、實數に於て四百四十四の減少を見てゐる、尙三月末現在の統計左の通り

現出回數 一一七
匪首數 〇六
延匪數 五、七四九
實數 二、八〇〇
討伐回數 九七
討伐延人員 一、六四一

閻華合流匪 既に袋の鼠

【安東國通】安東線高麗門西北十粁附近にあつた閻生堂華北軍合流匪二百に對し一昨朝より中代、金子兩部隊主力が猛擊を加へた結果匪團は遂に二分し一隊は鐵道を越えて南下一隊は本朝五龍山麓附近を彷徨しつゝあるが此匪團に對しては目下中代、金子兩部隊が相協力して完全な包圍隊形にあるので同匪の全滅も愈々時間の問題となつた、尙昨朝の戰鬪で戰死した三橋、出口兩二等兵の假葬は昨日午後一時より安東〇〇隊で行はれた

紅軍匪四散 揚匪首重傷負ひ

【奉天國通】東邊道一帶を荒し廻り良民に尠なからざる被害を與へて居た紅軍匪首揚靖宇は去る四月廿六日興京縣大腿子溝に於て匪賊討伐中の滿軍步兵第七團と交戰の際揚は左肩と乳との中間に小銃彈が命中重傷を受け目下匪團と離れ何れかに潛伏中であるが統率指揮者を失つた揚匪團は士氣沮喪狼狽その極に達し今や四散狀態にあるが揚を倒した滿軍は意氣衝天殘匪を掃蕩中である

地方事務所の斡旋で 撒水自動車出現
馬糞都の名も漸次消滅せん
國都人へ健康福音

〃〃〃滿洲名物〃 糞の都といふ餘り芳しくない名稱をつけられてゐる新京の塵芥については滿鐵地方事務所では毎日多數の苦力を使役し莫大な費用をかけて道路の淸掃をやつてゐるが何といつても一日に七十噸からの馬糞が出るのに帚で掃いた位ではおつつくものではなく結局附屬地內から客馬車を追つ拂はなくては解決せぬ問題であるがいろく研究した結果、新興滿洲の國都で〃〃〃舊態依然〃〃〃として苦力の手で道路を掃いてゐたのでは大滿鐵の面子にもかゝるといふので先進都市で使つて最も效果を收めてゐる大塚氏撒水淸掃自動車を使用することに決定近く同自動車は撒水しながら道路を淸掃し火災の時には消防に使用出來るといふ正に理想的の自動車で滿洲では奉天と新京に各一台づつ配置されるが新京衞生隊では先ず中央通りと日本橋通りに試驗的に使用しその成績を見た上で各街路に使用する筈でこの自動車の出現により從來の面目を一新するものと各方面から期待されてゐる（寫眞は近くお目見得する撒水淸掃車）

關東局保健所 愈よ改築
工事中の事務は中央通りで

中央通り關東局保健所は開設以來漸く一ヶ年を經たに過ぎないが其の間國都市民の保健衞生に齎せる功績は絕大なるものあるが、五月一日からは滿洲結核豫防協會新京健康相談所を併設されるに及び益々利用範圍が擴大されて來たので現在の設備では狹隘を感じ工費十數萬圓を以つて大改築をなすことに決定來週月曜日頃から工事に着手することゝなつたが工事中は保健所並に健康相談所は中央通國際ホテル隣り畠山組內に引移り從前通り事務を執る筈である

金利引下げの 滿洲國に及ぼす影響に就て（下）

斯くの如く滿洲には資金を安定させるべき設備が開けて居ないので凡ての資金關係は其の根源を東京に置いてあるものと認めて宜しい。此の關係にあるが故に今回の場合でも日本の利下げがあれば滿洲でも利下をするといふ關係がある譯である。勿論滿洲自體が或程度の獨立金融界を持つて居ることは認められるが今日日本の投資なしには滿洲は開發も安定も出來ない狀態にある點を考へ同時に日本資金が朝鮮や大連や將又奧地に於ける金圓資金となつて居り此の金圓と國幣とが等價で交換されるのだから金利も自然日ノ內地の變動に左右される譯である、しかも國幣金圓同一利率或は國幣は少なくも朝鮮又は大連の金利に大體の基準を置く可きものであるから總體に金利は高いのが尤も奧地は多少交通不便であるから本當であるが鐵道沿線などでは大連金利の金利と凡て同じであるのが本當である、そうでないのは其處に不自然な人爲作用を用ひて居るからである。之は早晚修正せねばならない。之に對する銀行側の意見は充分でない。今回の利下を見ると判る通り內地の利下が原因をなして居る。元來滿洲は朝鮮などよりは日本人の普通預金金利は安いが原則であつたが今度は國幣の方の金利の下げ方が足らなかつたので朝鮮よりも高くなつて來て居る。定期預金の例で見ると

東京 大阪 甲種銀行 年三分三厘（四厘引下）
乙種銀行 年三分五厘
京城 甲種銀行 年三分六厘（五厘引下）
乙種銀行 年四分一厘（四厘引下）
之に對して
大連 甲種銀行 年三分五厘（三厘引下）
乙種銀行 年四分二厘（一厘引下）
新京 朝鮮銀行 年三分八厘（二厘引下）
其他銀行 年三分五厘乃至四分二厘

以上は日本金の預金金利であるが朝鮮銀行及中央銀行の國幣預金は

新京其他大都市 六ヶ月以上 年四分二厘（三厘引下）
其他小都市等にては 六ヶ月以上 年四分二厘（三厘引下）
一ヶ年 年四分七厘（三厘引下）

となつて居る、內地の金利に比し高きに過ぐる樣である許りでなく大連に比し格段の高率である。國幣定期預金利率は鮮銀、中銀に同率でやる協定である。其他の國幣預金も兩行大體同一率を採用することになつて居る樣である。尤も此の兩行以外の銀行は之の利率より高いものもあり安いのもある。因に滿洲中央銀行は金預金は預らないそうである。鮮銀が國幣と金圓預金利率に差をつけて發表して居るのは種々の行懸りとは云へ理論が一貫して居ない。尙貸金利率は其相手方擔保種類、期間、用途等によつて異るが大體に引下せらるるものと思ふ。滿洲國全般の產業が低金利により利益を受けることもとよりである。

けふ盛大に執行
午後三時より日滿軍人會館で
殉難兩社員に對する電業社葬

藤井、川副兩氏の葬儀は電業社葬を以て十四日午後三時より日滿軍人會館講堂に於て藤井氏叔父筆之丞氏、川副氏未亡人キヨノさん、同遺兒勝則、綾子、スヾ子さんをはじめ吉田社長、同副委員長、葬儀委員長入江副社長、孫副社長以下電業職員、其他大林組、滿炭、興亞技術同志會、海友會、關東軍、實業部、國防婦人會より多數參列の下に執行されるが同時に殉職二氏に對し表彰も兼ね左の順序で行はれる

▲開式の辭 入江葬儀委員長
▲讀經
▲弔辭 1吉田社長弔辭 2工務部長〃 3大林組社長〃 4滿炭理事長〃 5鶴岡炭礦總辦〃 6社員クラブ代表〃 7鄉軍電氣分會〃 8興亞技術同志會代表〃
▲弔電朗讀
▲表彰
▲挨拶 委員長
▲讀經
▲燒香
▲閉式の辭 孫副委員長

故伊林少尉以下 十二勇士の遺骨 內地へ歸還

【ハルビン國通】山岡部隊下伊林少尉以下十二體の遺骨は十三日午前九時四十分發列車で驛頭山岡本部隊長以下戰友並に日滿官民、國防婦人會等多數の見送りを受け故國への悲しき凱旋の途に就いた

奉天總站の 雜品倉庫燒く

【奉天國通】本日午前十時五十分頃奉天總站構內南側鐵路局雜貨倉庫から出火同所は水利の便惡く見るくうちに倉庫一棟を全燒、零時過ぎ鎭火した、損害額目下取調中であるが、倉庫物品だけでも數萬圓に達する

大相撲夏場所 けふ開始 ―初日取組―

【東京國通】大相撲夏場所は愈々十四日から開始される事となつたが初日の取組左の如し

東 小戸ヶ岩、谷の音、久能山、千葉昇、靑葉山、神威甲、星岩、名寄岳、秋田海、北山、錦華海、越の里
西 土州灘、常陽山、矢筈山、照錦、錦岩、福知海、安藝の瀉、松浦川、加古幟、嶺山、前田錦、綾山、防長

▲中入
綾若、金湊、海光山、大浪、五つ島、天城山、松前山、大郎山、出羽の花、筑波嶺、和歌島、笠置山、桂川、兩國、綾昇、新海、鏡岩、土州山、巴潟、玉錦
陸奧錦、楯甲、綾乃川、三熊山、射水川、大八州、九州山、番神山、大刀若、幡瀨川、磐石、玉の海、出羽湊、旭川、大潮、双葉山、駒の里、清水川、男女の川、富の山

尙武藏山、高登、能代潟、磐城は休場する事と決定した

明日の郵便局取扱時間

十五日新京神社大祭當日中央郵便局の取扱時間は爲替貯金其他現金受拂は正午までであるから各自注意されたいと

扇芳會館花見行

ダンスホール扇芳會館ではダンサー諸嬢の慰安を兼ね來る十六日を郭家店の花見としやれ、一日を樂しく遊ぶことになつた

赤澤元造氏逝去

【東京國通】日本メソヂスト教會監督赤澤元造氏は急性肺炎のため聖路加病院に入院中十二日午後九時五分逝去した享年六十二

滿川拓大教授逝去

【東京國通】拓殖大學教授滿川龜太郎氏は三日腦溢血で倒れ廐ヶ谷の自宅で療養中十二日午後五時廿五分逝去した、享年四十八

探偵小說 殺人技師（上映上演）

森下雨村 作　茅場紫水 畫

九三

恐ろしき呪（一）

眞暗い土藏の中に、閉ぢこめられたお繁は、きよろ／＼とあたりを見廻したが、彼女の周圍を取卷いてゐるものは、たゞ漆黑の暗闇のみで、その中に果して何があるのか、どんなおそろしい秘密が隱されてゐるのか、全く想像もつかなかつた。

もし、彼女が自分の身邊から、三尺と離れないところに、あんなおそろしいものが、横はつてゐるといふことを知つたら、おそらく彼女は再び氣を失つてしまつたに違ひないのだが――。

お繁は、しばらく暗やみの中をきよろ／＼と見廻してゐた。

何かしら、足がばら／＼になつてしまひさうなけだるさと同時に鼻頭から頸へかけて、小さい針を無數に植つけられでもしたやうな痛みを感じる。

ふいに彼女は、はつと息を内へ引くと、あわてゝ床の上に起き直つた。あのおそろしい記憶が、今突然、頭の中によみがへつて來たのだ。

――川端法律事務所でまざ／＼と見た他殺死體。――内海耕太郎代理人へと書いた封筒。――闇の中の怪人、――甘酢つぱい藥品の匂ひ――。

まるで稲妻のやうに、あの時のことが、彼女の腦裡にひらめいたさうだ。自分はあの怪しい男に誘拐されたのだ。夢ともなく現ともなく、あの怪人の逞しい手に抱かれて、自動車へ乘せられたことをおぼえてゐる。それから幾度となく、自動車を乘換た揚句、この眞暗な牢獄へつれこまれた時のことが、ぼんやりと、幻のやうに思ひ浮かんで來た。

一體、こゝはどこだらう？そして、あれからどのくらゐ時間がたつてゐるのだらう？

お繁は、やつと勇氣を揮ひおこすと、よろ／＼と床の上に起ちあがつた。埃つぽい、澱んだやうな空氣が、ぷんと鼻をつく。彼女はあてもなく二三歩、手探りで歩くとふと氣がついてポケットからマッチの函を取出した。

めら／＼と燃えあがつた灯の中に、あらい下締りの壁や、埃だらけのごた／＼した床が目についたが、一本のマッチが燃えつくすと、お繁はすぐ二本目を擦つた。と、その時、彼女は何にを見つけたかアッといひ樣、マッチを手から取落とすと、思はず後へ飛びのいた。

そして、今にも誰かゞ飛びかゝつて來はしないかといふ風に、暗やみの中で、ぢいつと身構へをしてゐたが、一向さういふ樣子もないので、不審さうに首をかしげながら、今一度マッチをすつた。

そして、今度はその灯を、頭の上に捧げながら、すかすやうに見入つてゐたが、ふいにほつと安堵の太息を漏らした。

さつき、人間かと思つて飛のいたのは、よく／＼見ると、本當の人間ではなくて、等身大の人形だつた。何に使ふのか、あらい石膏で塗かためて、頭には赤と白とのだんだら縞のトンガリ帽が冠せてあつた。まだすつかり出來上つてゐるのではないらしく、首から下は、無細工に石膏のかたまりが、べたべたとおしつけてあつて、どこが手やら足やらよく分らない。

しかし、顔だけは、すつかり道化師のお面に出來上つてゐて、此お面が暗やみの中から此方を向いてにや／＼笑つてゐるのだつた。

お繁が、おもはずぞつとして飛のいたのも無理ではない。

やつと胸を撫でおろした彼女は今度は落着いて、ゆつくりと四邊を見廻した。すると此穴藏のくらなかには道化師人形許りでなく他にも奇妙な色々の道具が轉がつてゐる